



# 仙台市中央卸売市場経営戦略 2017

2017年度～2021年度 中期戦略

第10次卸売市場整備基本方針を踏まえ



平成29年度

仙台市

## 目次

I はじめに	1
II 市場を取り巻く環境	2
1 少子高齢化による社会構造の変化	2
2 市場外流通の拡大	4
3 食生活の変化	8
III 当市場を取り巻く環境	9
1 当市場の取扱高の推移	9
2 東北・全国における主要な卸売市場の取扱高及び占有率	15
3 当市場仲卸業者・売買参加者及び宮城県内食料品小売店数の推移	29
4 仙台市及び宮城県の人口推移	30
5 震災からの復興	32
IV 仙台市中央卸売市場経営戦略	33
1 全国的な動向	33
2 東日本大震災を踏まえて	33
3 経営戦略の策定方針	33
4 3つの強化方針	36
<b>【強化方針1. 食の安定供給の機能強化】</b>	
(1) 食の安全・安心保持のための機能強化	37

(2) 安定供給のための市場の機能強化 .....	40
(3) 非常時対応力の強化 .....	45
<b>【強化方針2. 市民から産地までを結びつける市場機能の充実】</b>	
(1) 情報の受発信機能の強化 .....	48
(2) 販売力の強化 .....	51
<b>【強化方針3. 東北の中核的拠点としての機能強化】</b>	
(1) 中核的拠点としての機能強化 .....	54
(2) 市場内連携による機能強化 .....	59
<b>V 行動計画工程表 .....</b>	<b>61</b>
<b>資料編 .....</b>	<b>62</b>
1 東日本大震災発生直後における当市場の対応 .....	62
2 国の第10次卸売市場整備基本方針 .....	63
3 経営戦略策定の経過 .....	64

## I はじめに

仙台市中央卸売市場は、昭和 35 年の市場開設以来 57 年にわたって仙台市内はもとより、東北の食の流通拠点として大きな役割を果たしてまいりました。

また、平成 23 年3月の東日本大震災では、停電等により施設の使用に支障が生じている中、在庫を活用しながら生鮮食料品等の取扱いを継続するとともに、救援物資の供給を担うなど、当市場の公益性が再認識される機会ともなりました。

一方、卸売市場を取り巻く環境は、社会構造の変化や市場外流通の拡大等による市場取扱高の減少など大変厳しい状況が続いており、国の「第9次卸売市場整備基本方針」(平成22年10月)では、各中央卸売市場において今後ともその機能を十分に発揮していくため、経営戦略的な視点から当該市場のあり方や運営方針等を示した経営展望策を、市場関係者が一体となり策定することとされました。

これらを踏まえ、当市場としては市場関係者と開設者で構成する「仙台市中央卸売市場経営戦略策定委員会」を設置し、市場内全部門で議論を重ねた結果、当市場が生鮮食料品等を安全かつ安定的に供給する役割を発揮し、今後も発展し続けるため、3つの強化方針と7つの強化策からなる「仙台市中央卸売市場経営戦略 2012」を平成 24 年 12 月に策定し、様々な取組みを進めてまいりました。

この度、国の「第 10 次卸売市場整備基本方針」(平成 28 年1月)が定められたことや、当市場がこの5年間で取り組んできた成果の検証を踏まえ、安全・安心な生鮮食料品等の円滑な流通の確保に向けて東北地方の中核的拠点としての役割を果たすべく、今後5年間の当市場の目指すべき方向性を示す指針として、「仙台市中央卸売市場経営戦略 2017」を策定しました。

今後は、より安定的・効率的な市場運営を目指し、市場関係者が一丸となって取り組んでいき、さらなる発展を目指してまいります。

## Ⅱ 市場を取り巻く環境

市場取扱高減少の要因として、

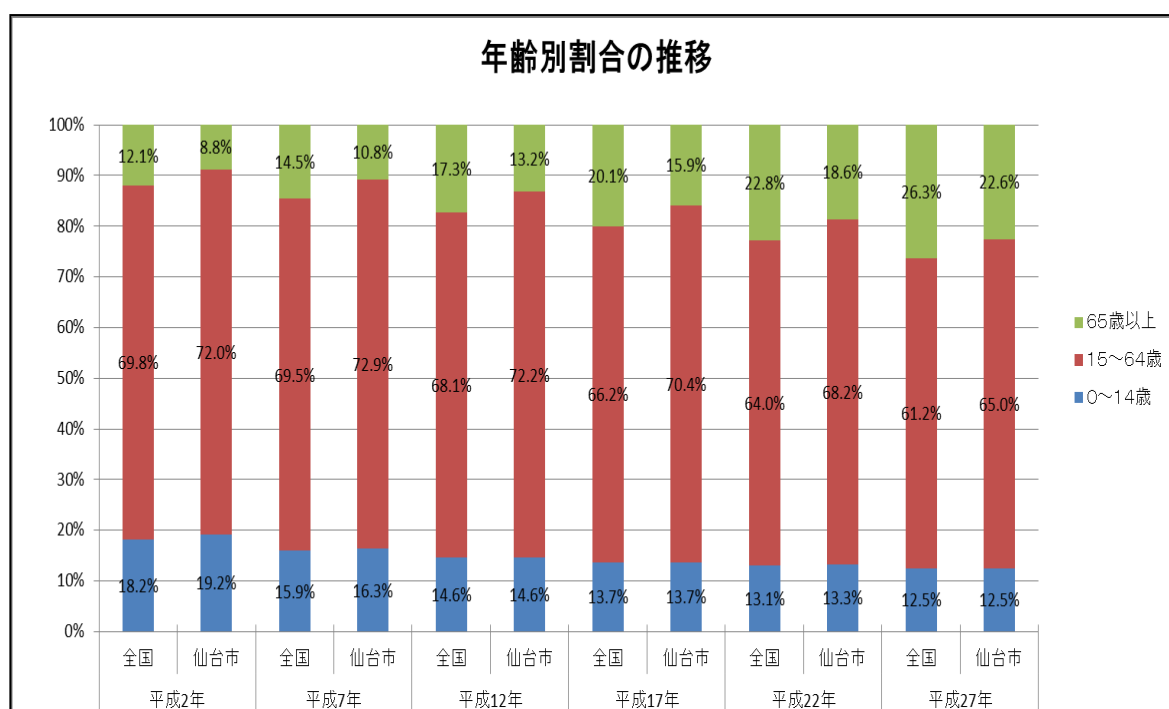
- 1 少子高齢化による社会構造の変化
- 2 市場外流通の拡大
- 3 食生活の変化

が考えられています。

### 1 少子高齢化による社会構造の変化

#### (1) 少子高齢化

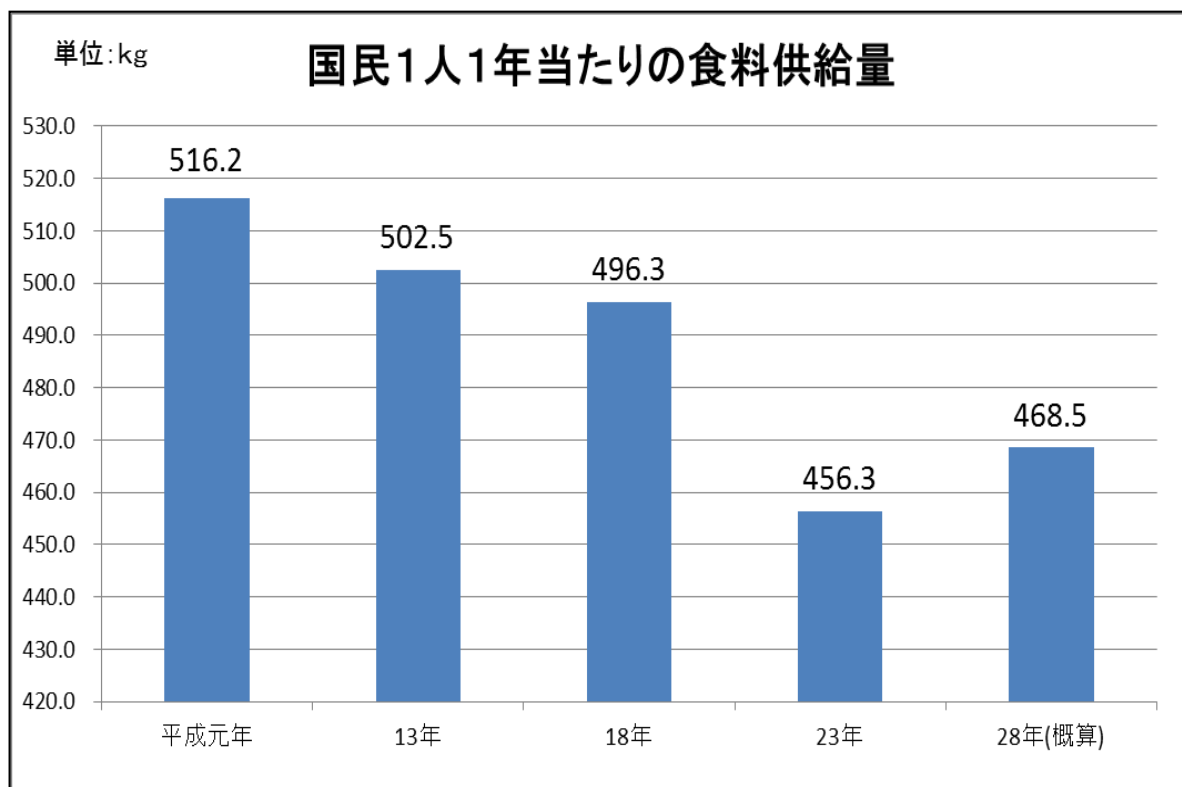
全国の年齢別割合の推移を見ると、0～14歳までの割合が減少する一方、65歳以上の割合が増加しています。これは仙台市でも同様の傾向が見られ、平成27年の高齢化率(65歳以上の割合)は全国で26.3%、仙台市では22.6%となっており、今後も少子高齢化は進行することが予想されます。



(出典:総務省国勢調査)

## (2) 食料供給量の減少

国民1人1年当たりの食料供給量は、平成元年以降は減少傾向にあり、平成23年は456.3kgとなりました。平成28年は468.5kgとなり、平成23年からは持ち直したものの、平成元年から見ると、約50kg減少しており、少子高齢化等による社会構造の変化等が要因と考えられます。



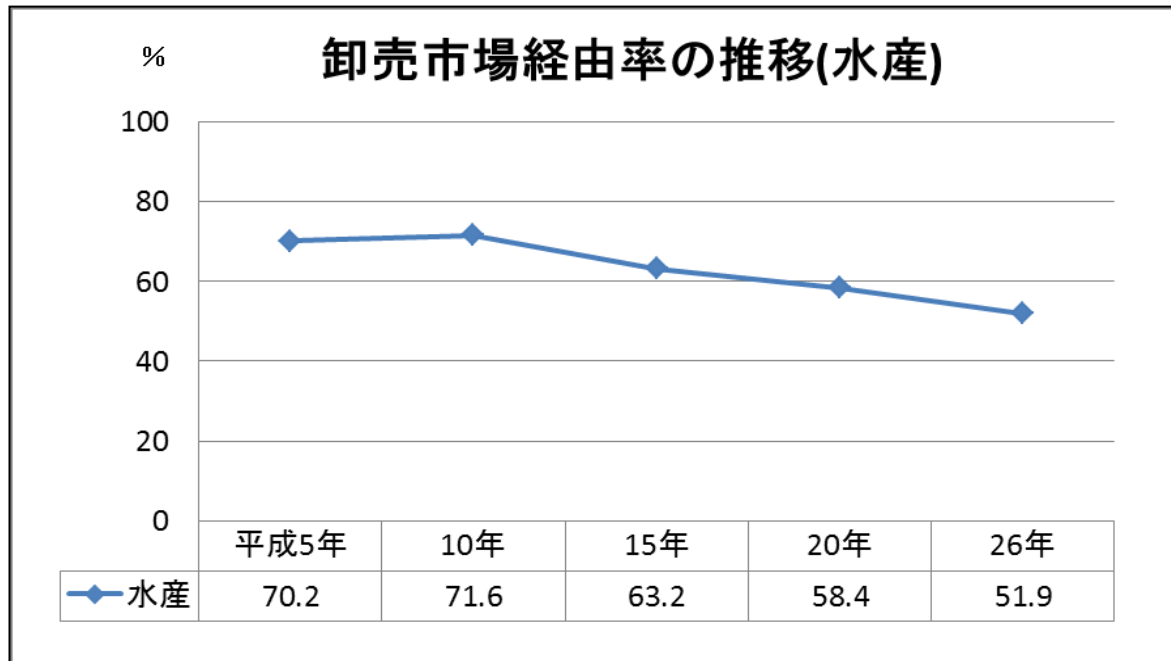
(出典: 農林水産省食料需給表より作成)

## 2 市場外流通の拡大

### (1) 市場経由率の低下

#### ア 卸売市場経由率の推移(水産)

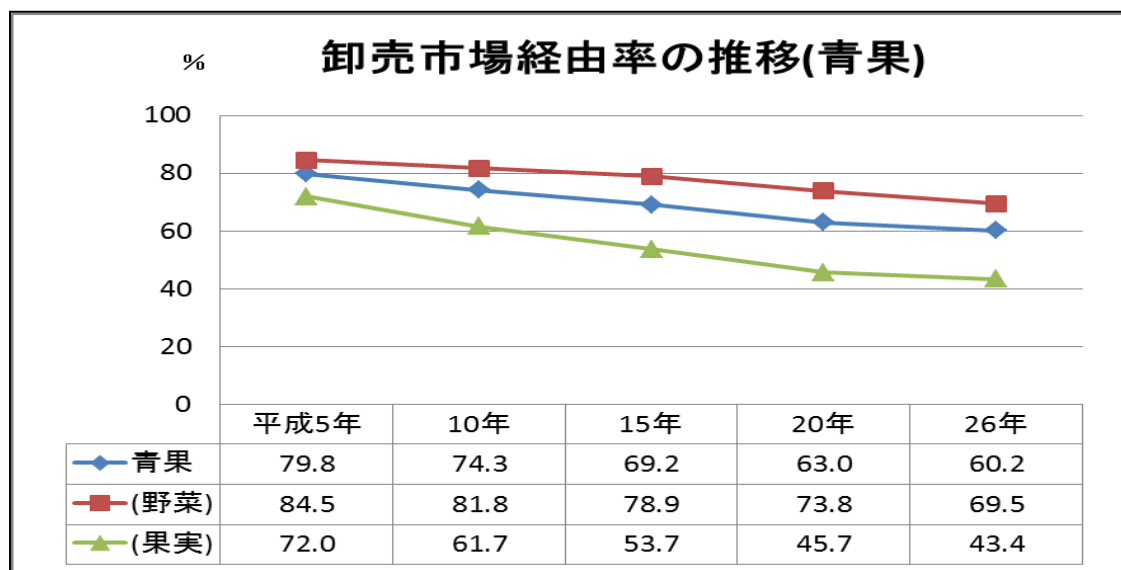
平成10年から平成15年にかけての低下が大きくなっています。平成26年は市場経由率が51.9%であり、平成10年と比較すると約2割低下しています。



(出典:農林水産省卸売市場情報参考資料)

### イ 卸売市場経由率の推移(青果)

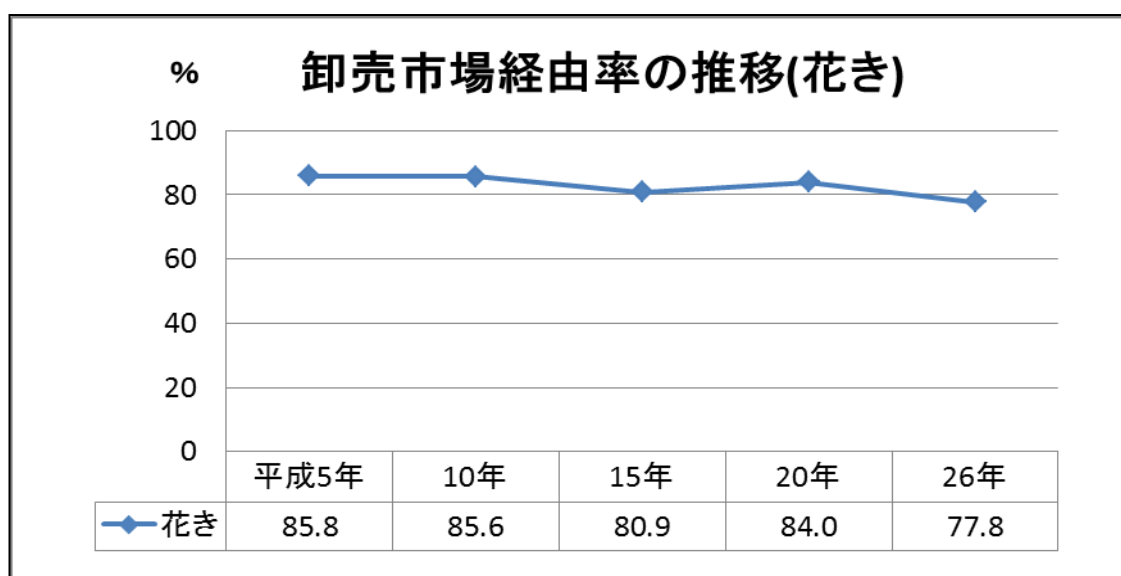
果実の減少が著しいです。平成 26 年の果実の卸売市場経由率は 43. 4%となっており平成5年と比較すると 28. 6%も低下しています。



(出典:農林水産省卸売市場情報参考資料)

### ウ 卸売市場経由率の推移(花き)

花き部については、他部門に比べると、経由率の低下幅は小さいです。

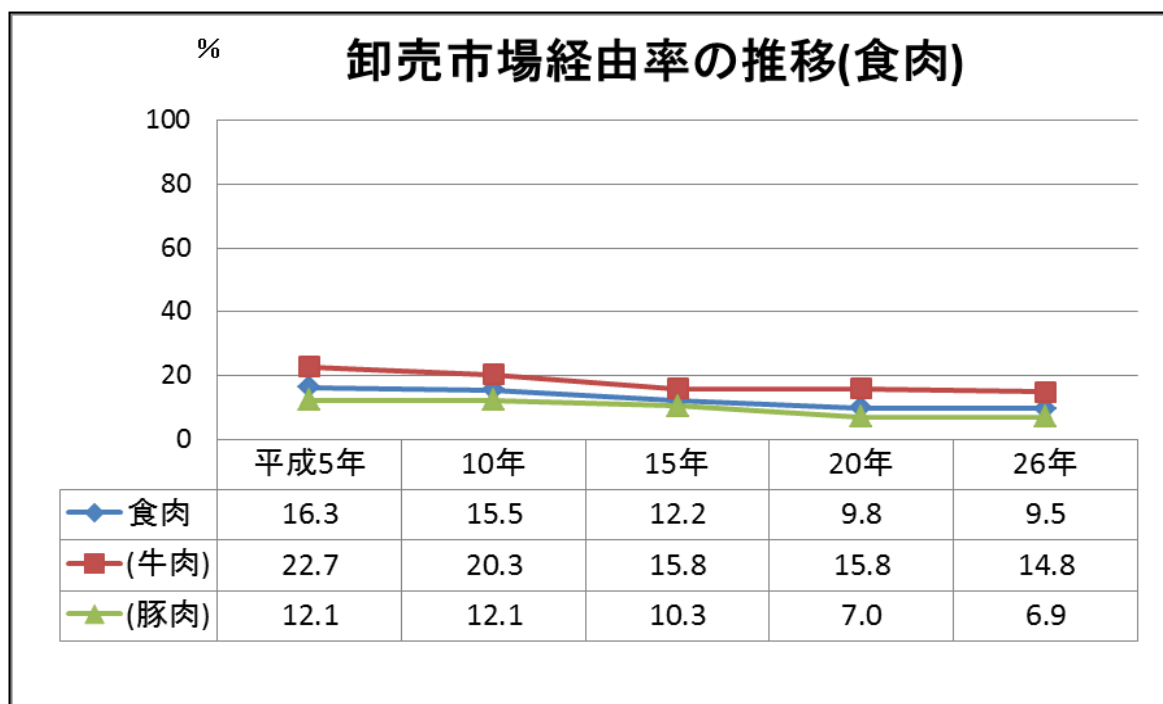


(出典:農林水産省卸売市場情報参考資料)



## エ 卸売市場経由率の推移(食肉)

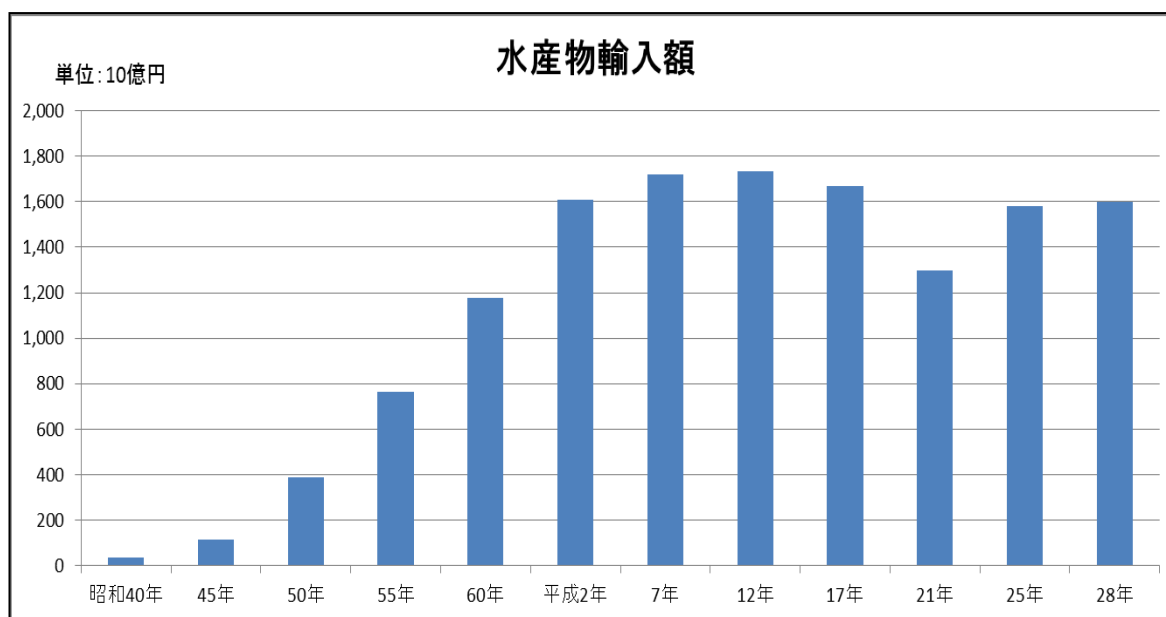
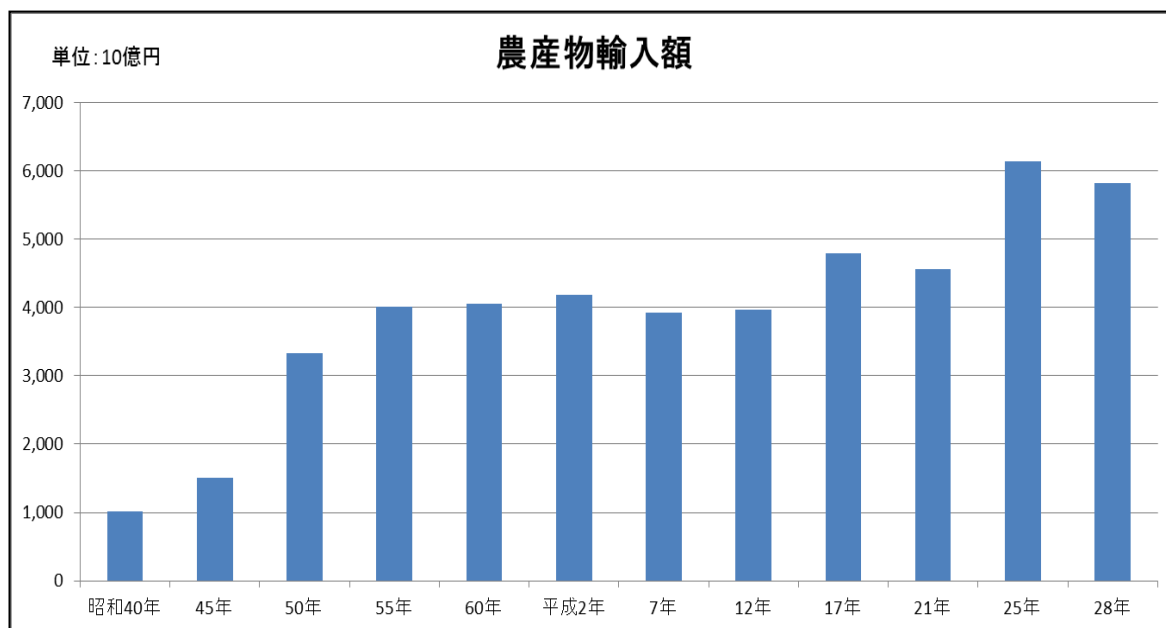
牛肉、豚肉ともに減少傾向にあります。食肉全体で見るとここ 20 年で4割ほど経由率が低下しています。



(出典:農林水産省卸売市場情報参考資料)

## (2) 農水産物輸入額推移

農産物、水産物ともに昭和 50 年頃から輸入額が伸びています。また農産物は平成 21 年以降も増加傾向となっており、水産物は一度減ったものの 25 年頃からまた増えています。これは冷凍野菜・加工青果物の需要増大に伴う輸入拡大と、円高等による輸入価格の低下等が要因として挙げられます。

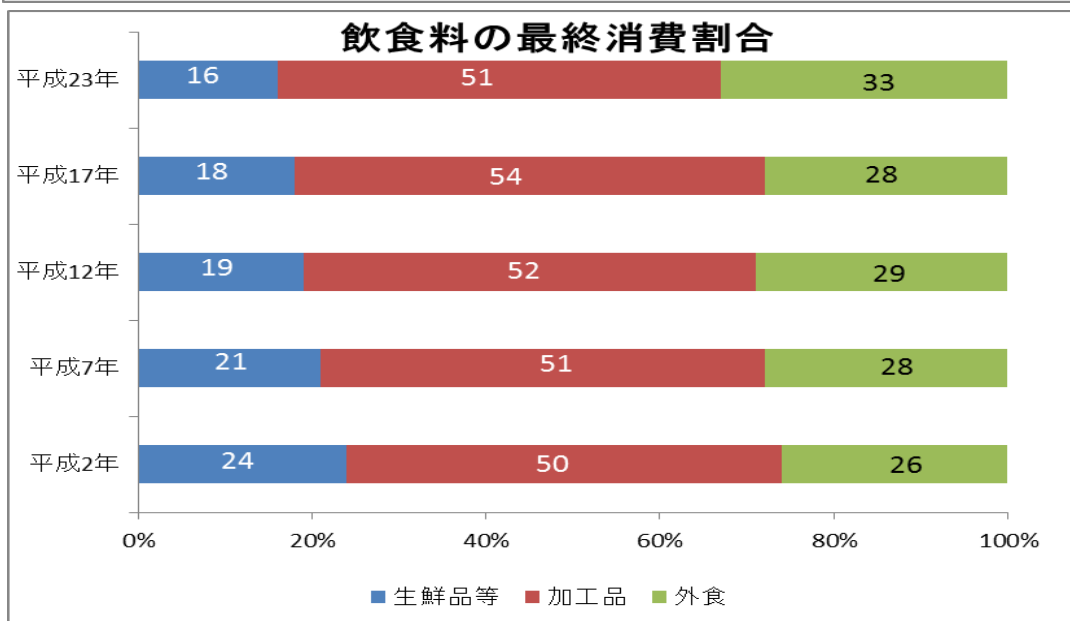
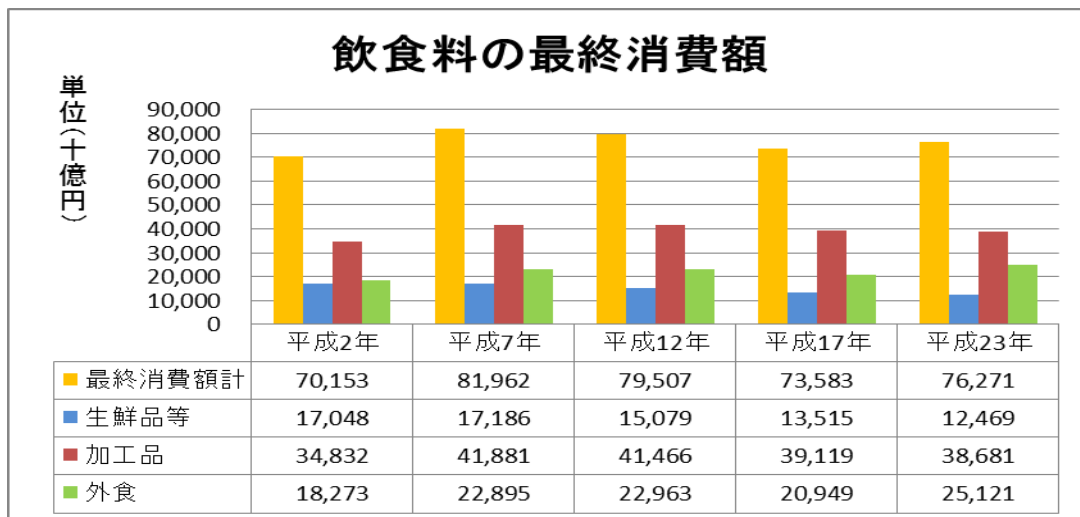


(出典：農林水産省農林水産物輸入統計)

### 3 食生活の変化

最終消費額※は、平成7年をピークに一時減少しましたが、平成23年は増加となっています。最終消費額の中でも「生鮮品等」は一貫して減少傾向にあります。加工品需要の高まりや外食機会の増加、輸入品の増加、そして家庭での調理の減少といった要因から減少したと考えられます。

※旅館・ホテル、病院等での食事については、使用された食材費を最終消費額としてそれぞれ「生鮮品等」及び「加工品」に計上しています。また加工食品のうち精米・精麦等、各種肉類及び冷凍魚介類については、加工度が低いため「生鮮品等」に計上しています。



(出典:農林水産省飲食料の消費に関する統計)

### Ⅲ 当市場を取り巻く環境

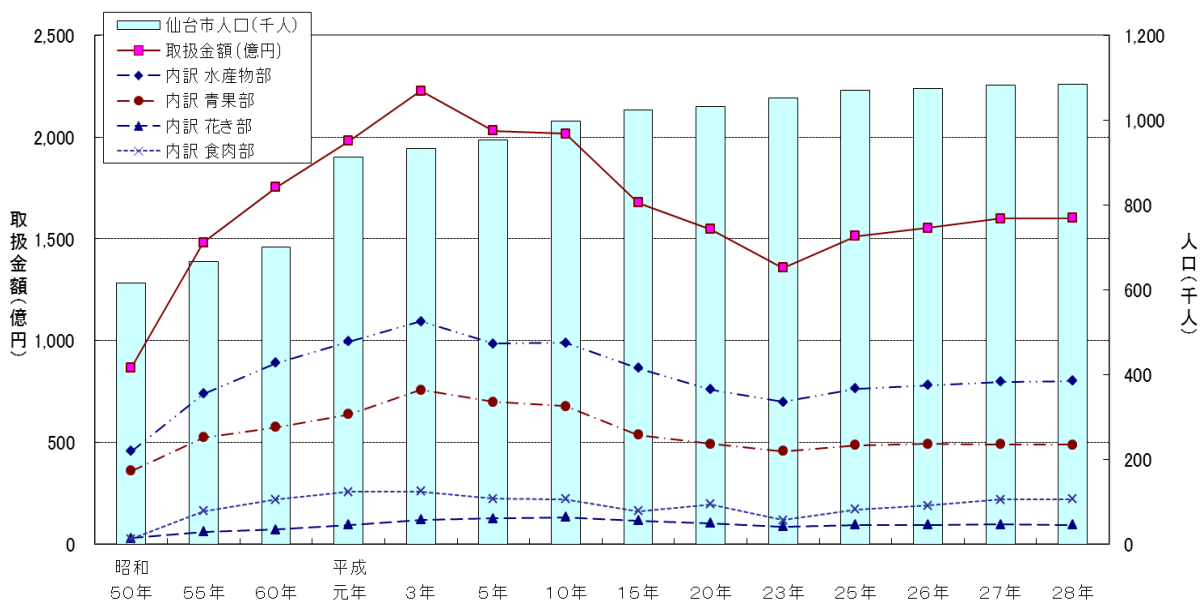
#### 1 当市場の取扱高の推移

開設区域である仙台市の人口は増え続けています。取扱金額は平成3年をピークに減少傾向にあり、特に平成23年は東日本大震災により落ち込みが見られますが、ここ5年は増加傾向にあります。

年次別取扱高の推移(S50~H28)

	昭和50年	55年	60年	平成元年	3年	5年	10年	15年	20年	23年	25年	26年	27年	28年	
取扱金額(億円)	867	1,482	1,753	1,980	2,227	2,030	2,015	1,676	1,547	1,357	1,513	1,552	1,600	1,602	
内訳	水産物部	456	737	890	994	1,093	984	988	864	759	698	764	780	798	801
	青果部	358	523	574	636	756	698	676	536	491	456	486	491	489	487
	花き部	29	61	71	94	119	126	131	114	103	86	94	93	95	94
	食肉部	24	161	218	256	259	222	220	162	194	117	169	188	218	220
仙台市人口(千人)	615	665	700	913	932	952	998	1,024	1,032	1,052	1,070	1,074	1,082	1,085	

※昭和62年1町、昭和63年1市1町との合併による人口増



最高取扱金額(参考) ・水産物部 平成3年 1,093 億円 ・青果部 平成3年 756 億円  
 ・花き部 平成10年 131 億円 ・食肉部 平成2年 273 億円

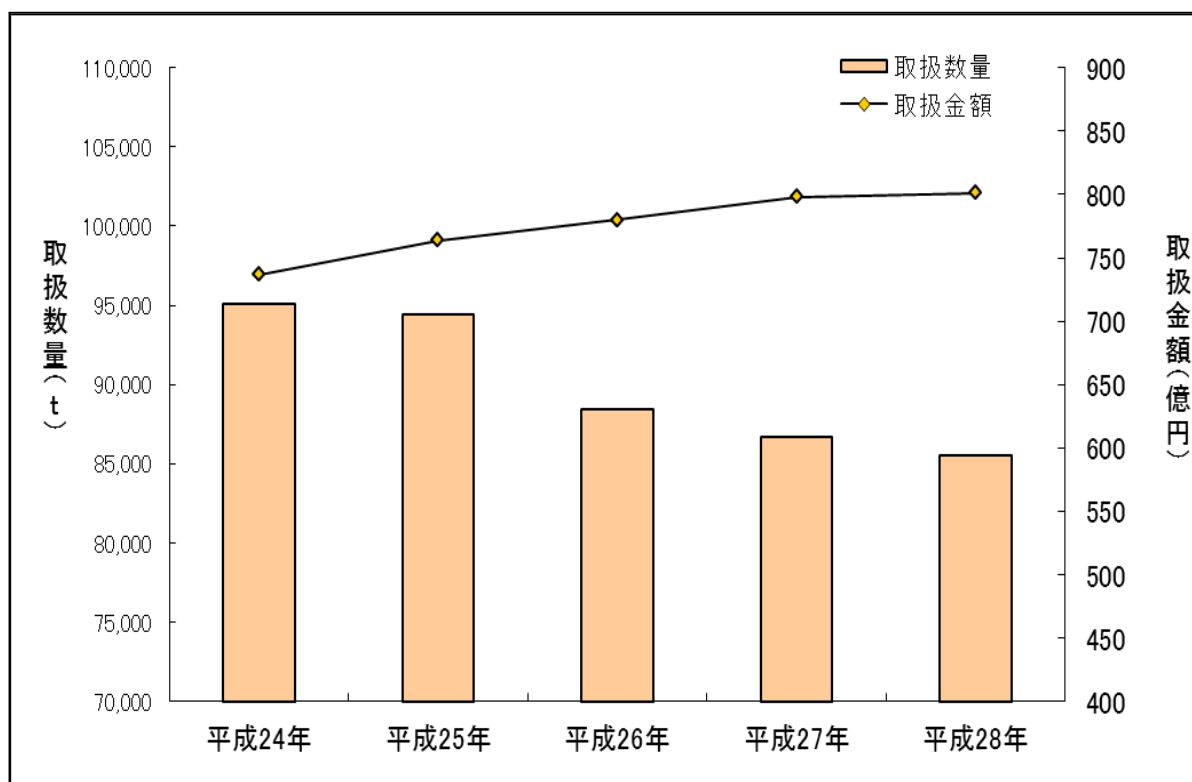
(出典:仙台市中央卸売市場平成29年度市場概要)

(1) 水産物部年次別取扱高の推移

水産物部では、取扱数量は平成3年以降減少傾向にあります。平成23年は東日本大震災により数量・金額に落ち込みが見られますが、取扱金額は平成23年以降増加傾向にあります。

(単位:t、千円)

		鮮魚	冷凍品	塩干加工品	計
平成24年	数量	34,488	25,732	34,891	95,111
	金額	28,232,011	19,325,559	26,164,786	73,722,356
平成25年	数量	33,777	26,308	34,332	94,417
	金額	28,394,602	21,659,603	26,357,068	76,411,273
平成26年	数量	33,172	22,168	33,071	88,411
	金額	29,167,400	21,358,046	27,507,033	78,032,479
平成27年	数量	32,044	22,490	32,152	86,686
	金額	29,577,362	21,757,035	28,500,926	79,835,323
平成28年	数量	29,797	23,865	31,852	85,514
	金額	28,988,195	22,714,165	28,430,252	80,132,612



(出典: 仙台市中央卸売市場平成29年度市場概要)

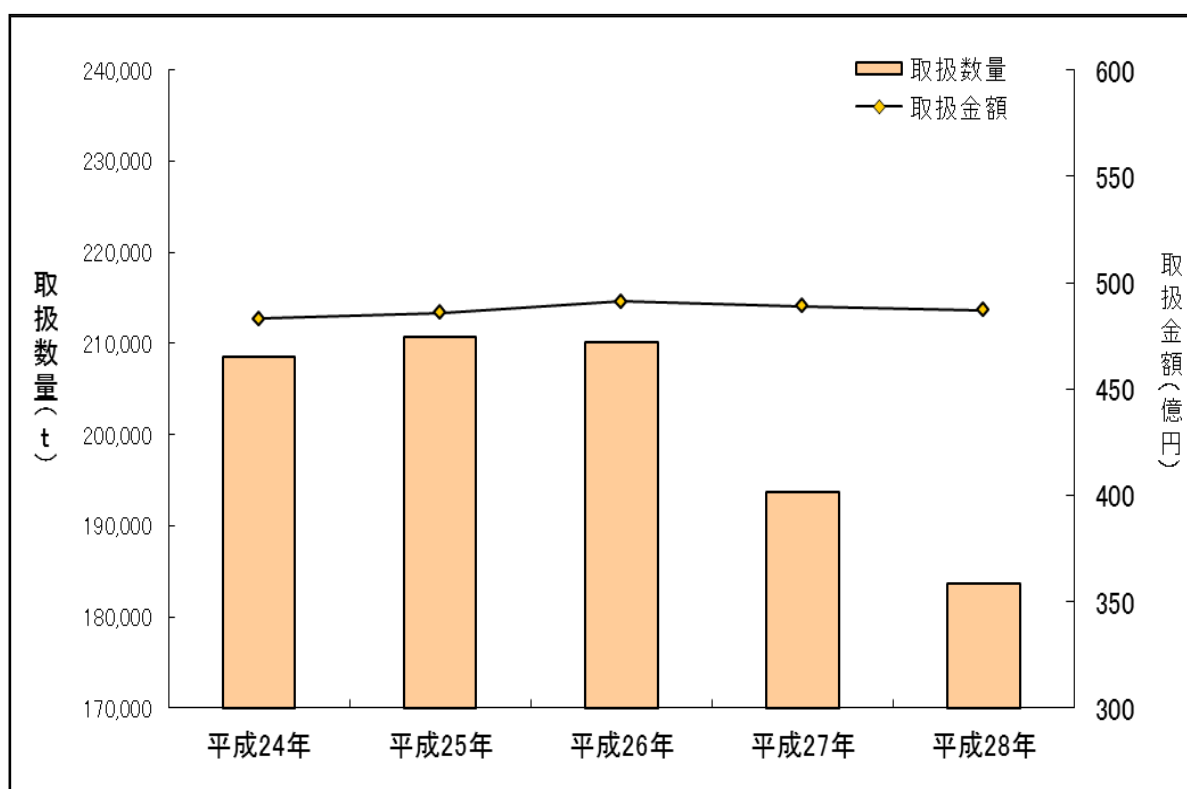
(2) 青果部年次別取扱高の推移

青果部では、取扱数量が昭和 62 年、取扱金額が平成 3 年にピークとなり、以降減少傾向にあります。平成 23 年は東日本大震災により数量・金額が大きく落ち込みました。

直近5年では、取扱数量の減少が著しいですが、取扱金額はほぼ横ばいとなっています。

(単位:t、千円)

		野 菜	果 実	鳥 卵	計
平成24年	数量	145,702	60,563	2,324	208,589
	金額	30,491,610	17,354,322	448,741	48,294,673
平成25年	数量	149,320	59,271	2,147	210,738
	金額	31,013,676	17,156,067	471,229	48,640,972
平成26年	数量	146,281	61,875	1,978	210,134
	金額	30,854,690	17,728,100	501,520	49,084,310
平成27年	数量	138,737	52,988	1,968	193,693
	金額	31,743,866	16,628,638	516,004	48,888,508
平成28年	数量	134,390	47,268	2,063	183,721
	金額	31,769,516	16,448,525	491,729	48,709,770



(出典: 仙台市中央卸売市場平成 29 年度市場概要)

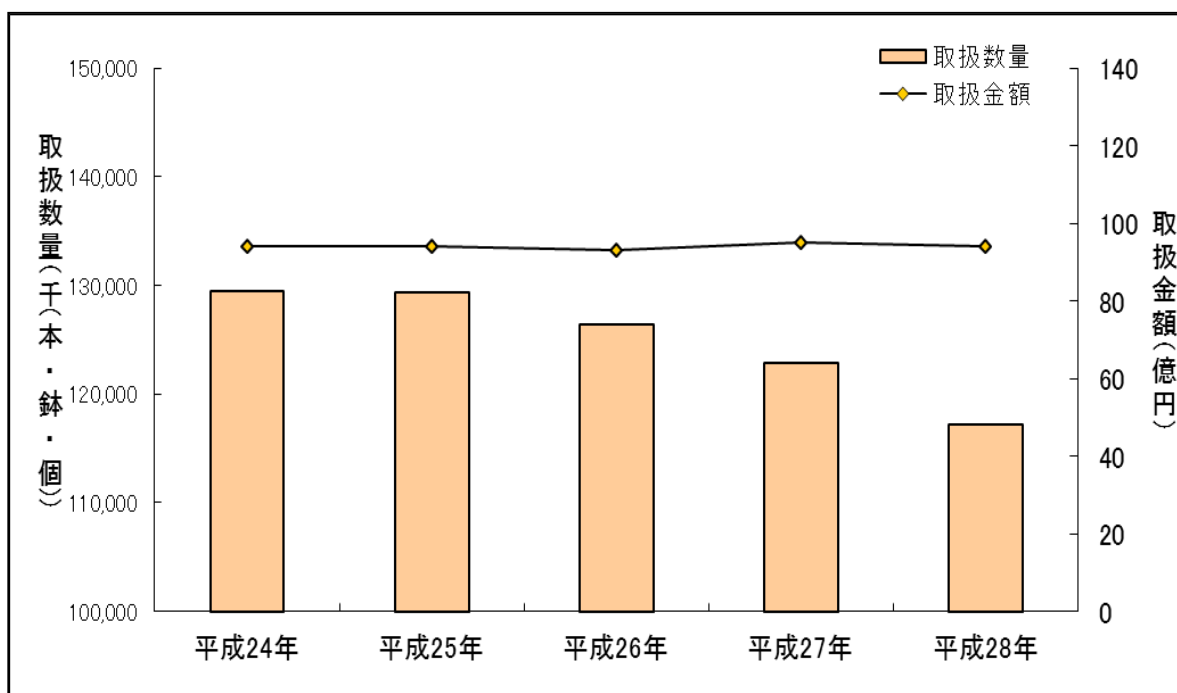
### (3) 花き部年次別取扱高の推移

花き部では、取扱数量が平成7年、取扱金額が平成10年にピークとなり、数量・金額ともに平成23年まで減少傾向にありました。特に平成23年は東日本大震災により数量・金額に落ち込みが見られます。

直近5年で見ると、取扱数量は依然減少傾向にありますが、取扱金額は横ばいとなっています。

(単位:千(本・鉢・個)、千円)

		切花	鉢物	花木・庭木	その他	計
平成24年	数量	121,643	2,148	9	5,663	129,454
	金額	7,849,219	1,097,753	0	482,648	9,429,620
平成25年	数量	121,798	2,118	0	5,477	129,393
	金額	7,863,340	1,081,106	0	454,961	9,399,407
平成26年	数量	118,850	2,050	0	5,464	126,364
	金額	7,767,415	1,056,148	125	452,729	9,276,417
平成27年	数量	115,860	1,909	0	5,138	122,907
	金額	8,057,443	1,036,357	0	435,860	9,529,660
平成28年	数量	110,372	1,834	0	4,995	117,161
	金額	7,901,946	1,026,319	0	432,113	9,360,378



(出典: 仙台市中央卸売市場平成29年度市場概要)

(4) 食肉部年次別取扱高の推移

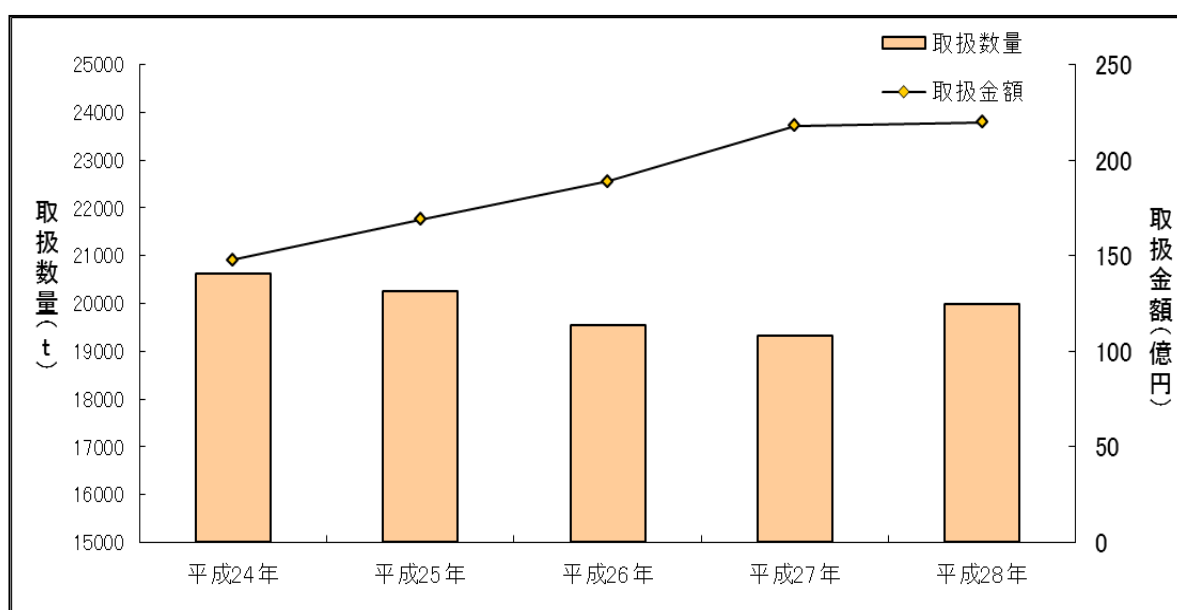
食肉部では、取扱数量、取扱金額ともに平成2年をピークに平成18年まで減少傾向にありました。また平成23年は東日本大震災があったため数量・金額ともに大きく下落しました。

直近5年で見ると、取扱数量は減少傾向にありますが、取扱金額は増加傾向にあります。

(単位:頭、t、千円)

		牛肉	豚肉	その他	計
平成24年	頭数	21,968	102,490	37	124,495
	数量	9,210	9,405	2,006	20,621
	金額	10,640,655	3,689,626	421,628	14,751,909
平成25年	頭数	22,906	98,495	26	121,427
	数量	9,292	9,163	1,799	20,254
	金額	12,445,291	4,034,958	374,058	16,854,307
平成26年	頭数	22,074	93,576	30	115,680
	数量	9,414	8,732	1,393	19,539
	金額	13,869,622	4,559,489	423,200	18,852,311
平成27年	頭数	20,840	93,962	47	114,849
	数量	8,995	9,045	1,290	19,330
	金額	16,649,364	4,720,316	440,575	21,810,255
平成28年	頭数	18,385	108,587	44	127,016
	数量	8,142	10,505	1,337	19,984
	金額	16,413,062	5,196,685	439,885	22,049,632

※品目の「その他」は、仔牛、馬、内臓、原皮など



(出典: 仙台市中央卸売市場平成29年度市場概要)

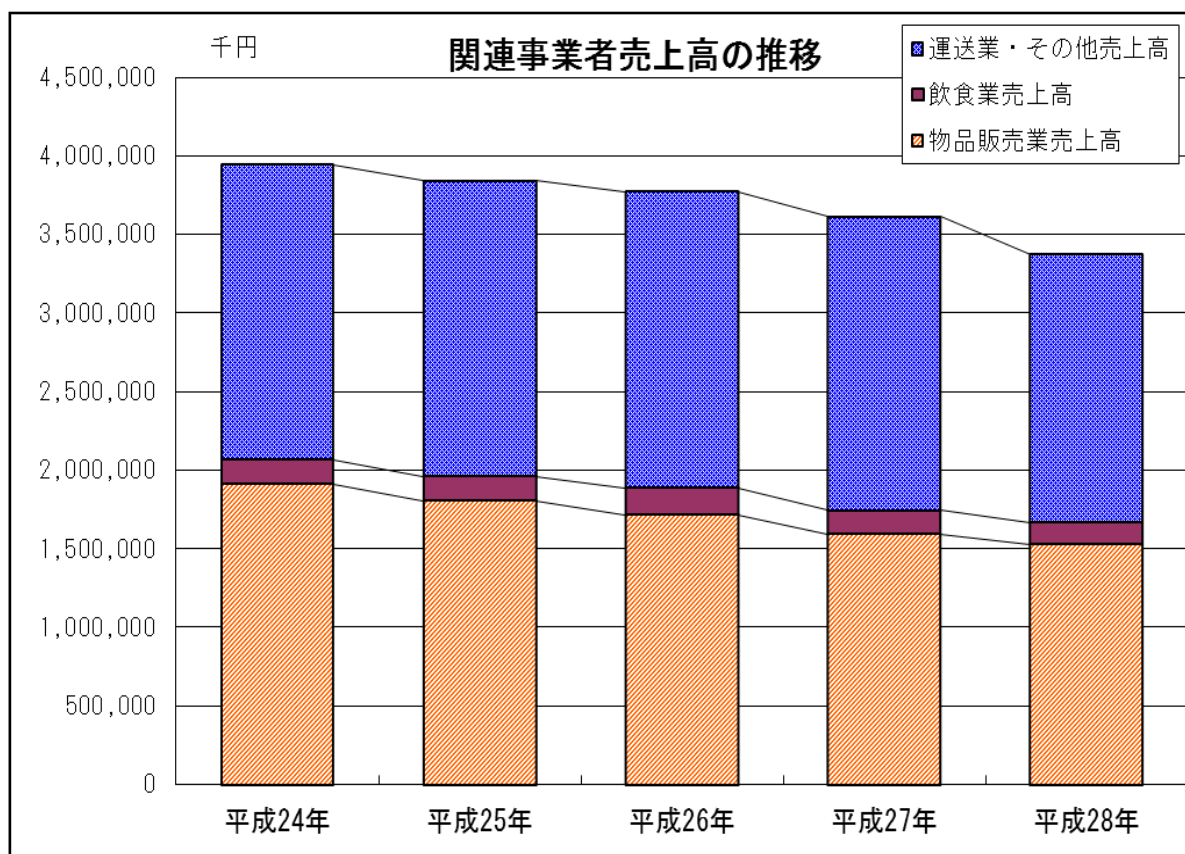


(5) 関連事業者年次別取扱高の推移

直近5年の売上高は減少傾向にあり、業者数はほぼ横ばいです。売上高は平成26年の飲食業において若干の増加が見られますが、全般的に減少となっています。

(単位:千円、数)

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
物品販売業売上高	1,915,976	1,807,706	1,717,456	1,593,470	1,527,564
物品業者数	20	21	21	22	21
飲食業売上高	152,015	151,999	169,353	151,788	142,000
飲食業者数	7	8	7	7	7
運送業・その他売上高	1,874,183	1,880,499	1,883,472	1,867,179	1,705,682
運送その他業者数	7	7	7	7	7



(出典: 仙台市中央卸売市場平成29年度市場概要)

## 2 東北・全国における主要な卸売市場の取扱高及び占有率

### (1) 東北地域

#### ア 水産

当市場水産物部の平成28年における取扱数量・取扱金額は、東北地方の県庁所在地にある卸売市場及びいわき市中央卸売市場の数量・金額合計のうち、およそ半分を占めています。ここ5年で数量・金額ともに占有率が増加傾向にあります。

#### 【取扱数量】

(単位:t)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
青森市	45,327	45,035	42,186	37,959	34,695	34,127	287,648
	21.51	21.56	21.11	20.60	19.62	19.73	291,843
秋田市※	22,083	18,663	16,829	13,562	13,291	13,375	315,814
	10.48	8.93	8.42	7.36	7.52	7.73	329,581
盛岡市	19,056	18,220	16,986	15,742	14,772	13,852	297,631
	9.04	8.72	8.50	8.54	8.35	8.01	314,704
山形市※	8,078	8,153	6,789	6,355	5,641	5,205	253,832
	3.83	3.90	3.40	3.45	3.19	3.01	271,059
福島市※	9,081	8,591	7,589	7,723	7,489	7,104	294,247
	4.31	4.11	3.80	4.19	4.24	4.11	303,625
いわき市	13,996	15,121	15,071	14,517	14,254	13,821	350,237
	6.64	7.24	7.54	7.88	8.06	7.99	344,385
仙台市	93,122	95,111	94,417	88,411	86,686	85,514	1,082,159
	44.19	45.53	47.24	47.98	49.02	49.43	1,148,389
合計	210,743	208,894	199,867	184,269	176,828	172,998	2,881,568
	100	100	100	100	100	100	3,003,586

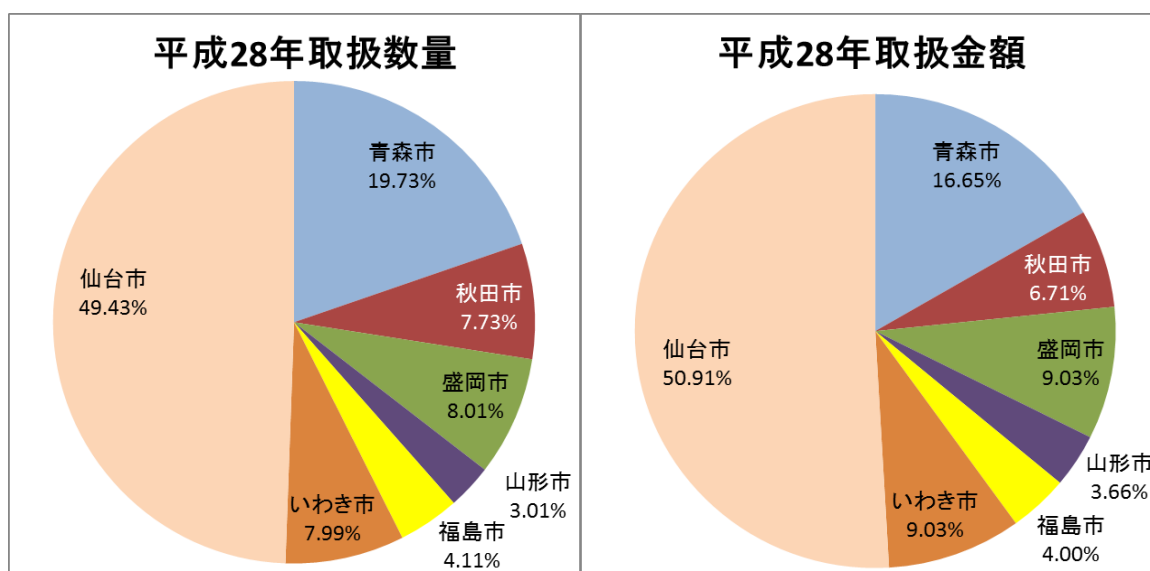
※は地方卸売市場

【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
青森市	28,525,372	26,904,293	27,991,915	27,687,471	26,321,168	26,200,355	287,648
	18.34	17.24	17.87	17.51	16.62	16.65	291,843
秋田市※	14,985,882	12,324,725	10,700,651	10,076,357	10,391,383	10,568,598	315,814
	9.63	7.90	6.83	6.37	6.56	6.71	329,581
盛岡市	15,978,806	15,633,018	15,000,280	15,028,715	14,778,677	14,219,063	297,631
	10.27	10.02	9.58	9.51	9.33	9.03	314,704
山形市※	7,926,273	7,756,617	6,735,733	6,773,380	6,123,608	5,766,714	253,832
	5.10	4.97	4.30	4.28	3.87	3.66	271,059
福島市※	6,942,838	6,878,381	6,313,710	6,450,233	6,361,302	6,291,331	294,247
	4.46	4.41	4.03	4.08	4.02	4.00	303,625
いわき市	11,420,686	12,794,706	13,448,672	14,051,117	14,519,552	14,213,726	350,237
	7.34	8.20	8.59	8.89	9.17	9.03	344,385
仙台市	69,779,895	73,722,356	76,411,273	78,032,479	79,835,323	80,132,612	1,082,159
	44.86	47.25	48.79	49.36	50.42	50.91	1,148,389
合計	155,559,752	156,014,096	156,602,234	158,099,752	158,331,013	157,392,399	2,881,568
	100	100	100	100	100	100	3,003,586

※は地方卸売市場



## イ 青果

当市場青果部の平成28年における取扱数量・取扱金額は、東北地方の県庁所在地にある卸売市場及び八戸市・いわき市中央卸売市場の数量・金額合計のうち、いずれも約3割を占めています。

### 【取扱数量】

(単位:t)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
青森市	78,774	76,604	73,414	66,526	68,012	64,063	287,648
	11.16	10.92	10.47	9.64	10.31	10.22	291,843
八戸市	111,904	109,745	113,178	113,419	113,988	110,569	231,257
	15.85	15.65	16.15	16.43	17.28	17.64	241,823
秋田市※	56,345	53,951	54,018	52,679	50,037	45,840	315,814
	7.98	7.69	7.71	7.63	7.58	7.31	329,561
盛岡市	98,083	95,169	90,938	89,261	83,390	79,333	297,631
	13.89	13.57	12.97	12.93	12.64	12.65	314,704
山形市※	37,772	33,611	34,830	34,780	32,733	32,028	253,832
	5.35	4.79	4.97	5.04	4.96	5.11	271,056
福島市※	58,154	56,584	59,544	59,044	57,859	52,945	294,247
	8.24	8.07	8.49	8.55	8.77	8.45	303,625
いわき市	62,815	66,987	64,309	64,463	59,994	58,405	350,237
	8.90	9.55	9.17	9.34	9.09	9.32	344,385
仙台市	202,087	208,589	210,738	210,134	193,693	183,721	1,082,159
	28.63	29.75	30.06	30.44	29.36	29.31	1,148,389
合計	705,934	701,240	700,969	690,306	659,706	626,904	3,112,825
	100	100	100	100	100	100	3,245,386

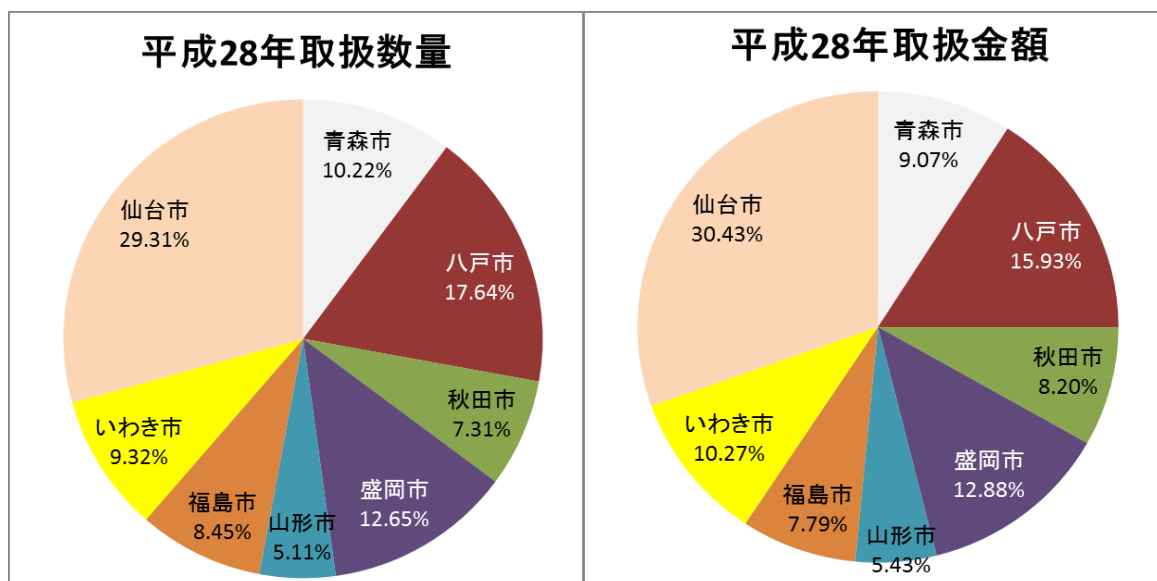
※は地方卸売市場

【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
青森市	14,235,747	14,001,201	13,253,394	12,424,944	13,645,824	14,511,022	287,648
	9.65	9.35	8.76	8.20	8.74	9.07	291,843
八戸市	19,892,235	19,648,187	20,574,684	21,458,171	23,192,627	25,499,460	231,257
	13.49	13.12	13.61	14.16	14.86	15.93	241,823
秋田市※	13,308,605	13,230,022	13,095,454	12,782,143	13,195,532	13,128,482	315,814
	9.02	8.84	8.66	8.43	8.46	8.20	329,561
盛岡市	19,838,401	19,748,513	19,844,307	19,559,821	20,108,664	20,619,155	297,631
	13.45	13.19	13.12	12.90	12.88	12.88	314,704
山形市※	8,791,002	7,898,961	8,415,542	8,434,450	8,430,604	8,683,593	253,832
	5.96	5.28	5.57	5.56	5.40	5.43	271,056
福島市※	11,521,567	11,493,901	12,226,581	12,345,904	12,793,072	12,472,985	294,247
	7.81	7.68	8.09	8.15	8.20	7.79	303,625
いわき市	14,267,214	15,395,584	15,161,238	15,483,108	15,812,218	16,435,895	350,237
	9.67	10.28	10.03	10.21	10.13	10.27	344,385
仙台市	45,629,585	48,294,673	48,640,972	49,084,310	48,888,508	48,709,830	1,082,159
	30.94	32.26	32.17	32.38	31.33	30.43	1,148,389
合計	147,484,356	149,711,042	151,212,172	151,572,851	156,067,049	160,060,422	3,112,825
	100	100	100	100	100	100	3,245,386

※は地方卸売市場



## ウ 花き

当市場花き部の平成28年における取扱数量・取扱金額は、東北地方にある主要な卸売市場の数量・金額合計のうち約5割半ばを占めています。また、占有率は年々高くなっています。

### 【取扱数量】

(単位:千(本・鉢・個))

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量 占有率(%)	取扱数量 占有率(%)	取扱数量 占有率(%)	取扱数量 占有率(%)	取扱数量 占有率(%)	取扱数量 占有率(%)	夜間人口(人) 昼間人口(人)
青森市※	15,118	14,578	14,440	13,654	12,789	11,952	287,648
	6.56	6.12	6.16	6.06	5.84	5.72	291,843
八戸市	20,038	21,092	18,848	18,307	17,994	17,315	231,257
	8.69	8.86	8.05	8.12	8.22	8.28	241,823
秋田市	33,596	33,338	33,591	32,557	32,143	31,708	315,814
	14.57	14.00	14.34	14.45	14.68	15.17	329,561
福島市※	26,329	26,848	25,601	23,864	22,764	21,252	294,247
	11.42	11.27	10.93	10.59	10.40	10.17	303,625
いわき市※	11,740	12,835	12,363	10,631	10,307	9,605	350,237
	5.09	5.39	5.28	4.72	4.71	4.60	344,385
仙台市	123,765	129,454	129,393	126,364	122,907	117,161	1,082,159
	53.67	54.36	55.24	56.07	56.15	56.06	1,148,389
合計	230,586	238,145	234,236	225,377	218,904	208,993	2,561,362
	100	100	100	100	100	100	2,659,626

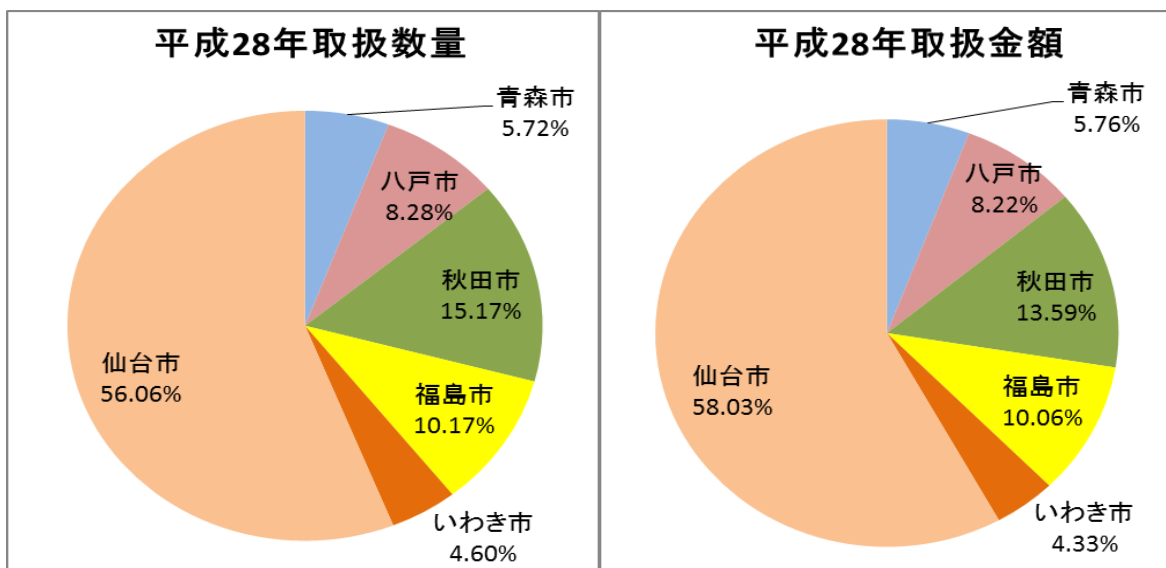
※は地方卸売市場

【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
青森市※	972,742	961,276	968,184	949,474	966,271	929,526	287,648
	6.28	5.83	5.94	5.96	5.90	5.76	291,843
八戸市	1,258,485	1,306,520	1,261,373	1,265,820	1,289,529	1,326,410	231,257
	8.12	7.92	7.74	7.95	7.87	8.22	241,823
秋田市	2,185,383	2,178,064	2,160,939	2,091,482	2,196,429	2,191,650	315,814
	14.10	13.20	13.25	13.13	13.40	13.59	329,561
福島市※	1,721,564	1,816,330	1,731,504	1,647,747	1,686,775	1,622,567	294,247
	11.11	11.01	10.62	10.35	10.29	10.06	303,625
いわき市※	720,915	807,525	785,929	692,784	717,635	698,600	350,237
	4.65	4.89	4.82	4.35	4.38	4.33	344,385
仙台市	8,636,560	9,429,620	9,399,407	9,276,417	9,529,660	9,360,378	1,082,159
	55.74	57.15	57.64	58.26	58.16	58.03	1,148,389
合計	15,495,649	16,499,335	16,307,336	15,923,724	16,386,299	16,129,131	2,561,362
	100	100	100	100	100	100	2,659,626

※は地方卸売市場



エ 食肉

※東北地域において食肉部門を持つ中央卸売市場は仙台市のみであるため、本項では比較せず。

(2) 全国

ア 水産

全国の主要な市場と比較すると、当市場水産物部は数量・金額共に7%前後の占有率であり、微増傾向にあります。

【取扱数量】

(単位:t)

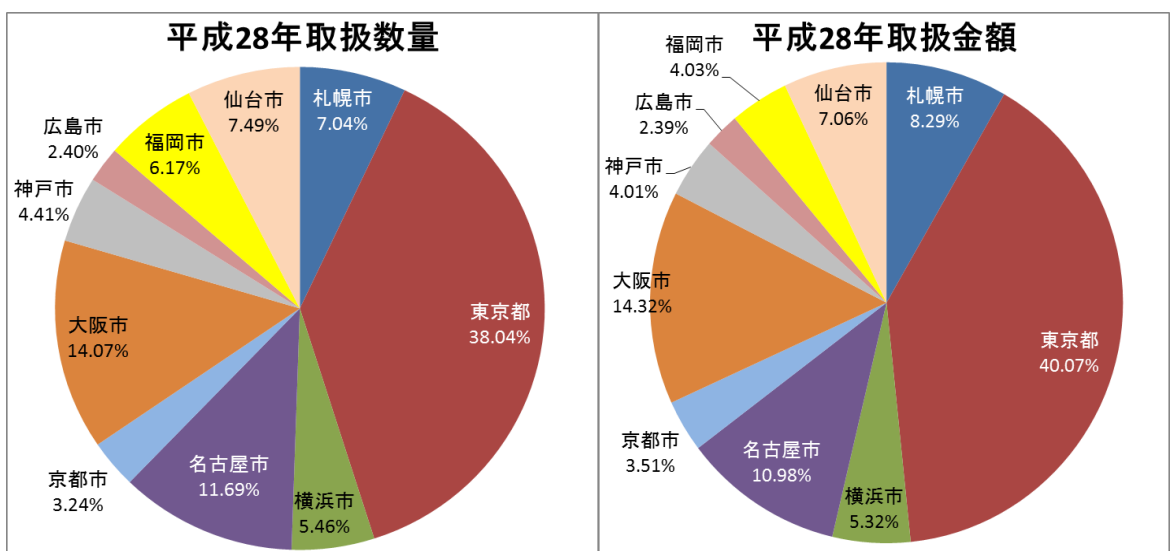
開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
札幌市	108,457	110,906	102,958	98,800	90,222	80,378	1,952,356
	7.65	8.00	7.74	7.90	7.42	7.04	1,959,740
東京都	527,542	523,547	514,829	479,424	463,976	434,290	13,515,271
	37.22	37.75	38.70	38.32	38.17	38.04	15,920,405
横浜市	84,103	80,375	73,611	63,096	59,024	62,307	3,724,844
	5.93	5.80	5.53	5.04	4.86	5.46	3,416,060
名古屋市	162,080	156,861	150,367	144,517	140,226	133,402	2,295,638
	11.44	11.31	11.30	11.55	11.54	11.69	2,589,799
京都市	48,602	45,576	44,593	41,251	39,074	36,977	1,475,183
	3.43	3.29	3.35	3.30	3.21	3.24	1,608,216
大阪市	190,802	181,870	171,893	170,604	168,412	160,668	2,691,185
	13.46	13.11	12.92	13.64	13.86	14.07	3,543,449
神戸市	71,679	72,461	65,169	58,235	54,730	50,341	1,537,272
	5.06	5.22	4.90	4.65	4.50	4.41	1,571,625
広島市	37,727	35,442	33,630	32,105	30,779	27,343	1,194,034
	2.66	2.56	2.53	2.57	2.53	2.40	1,211,020
福岡市	93,278	84,737	78,816	74,668	82,297	70,382	1,538,681
	6.58	6.11	5.92	5.97	6.77	6.17	1,704,218
仙台市	93,123	95,111	94,417	88,411	86,686	85,514	1,082,159
	6.57	6.86	7.10	7.07	7.13	7.49	1,148,389
合計	1,417,393	1,386,886	1,330,283	1,251,111	1,215,426	1,141,602	31,006,623
	100	100	100	100	100	100	34,672,921



【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
札幌市	93,212,858	98,421,313	98,799,318	100,715,094	101,184,014	94,073,995	1,952,356
	8.02	8.65	8.76	8.73	8.66	8.29	1,959,740
東京都	452,038,987	444,191,585	448,946,144	462,273,130	467,929,079	454,698,901	13,515,271
	38.88	39.03	39.79	40.07	40.07	40.07	15,920,405
横浜市	67,576,492	63,994,143	61,629,618	59,344,752	57,084,246	60,372,959	3,724,844
	5.81	5.62	5.46	5.14	4.89	5.32	3,416,060
名古屋市	127,888,431	123,170,056	122,108,706	125,447,403	127,647,338	124,589,115	2,295,638
	11.00	10.82	10.82	10.87	10.93	10.98	2,589,799
京都市	43,216,236	40,782,982	39,648,500	40,131,346	40,828,347	39,877,247	1,475,183
	3.72	3.58	3.51	3.48	3.50	3.51	1,608,216
大阪市	166,717,149	158,227,511	154,459,578	161,337,270	166,343,788	162,501,859	2,691,185
	14.34	13.90	13.69	13.99	14.24	14.32	3,543,449
神戸市	62,998,044	61,460,004	53,475,074	51,381,140	49,821,908	45,520,959	1,537,272
	5.42	5.40	4.74	4.45	4.27	4.01	1,571,625
広島市	31,341,738	29,163,141	28,995,587	29,404,836	29,342,298	27,137,566	1,194,034
	2.70	2.56	2.57	2.55	2.51	2.39	1,211,020
福岡市	47,941,531	44,948,159	43,873,349	45,529,180	47,890,838	45,722,264	1,538,681
	4.12	3.95	3.89	3.95	4.10	4.03	1,704,218
仙台市	69,779,895	73,722,356	76,411,273	78,032,479	79,835,323	80,132,612	1,082,159
	6.00	6.48	6.77	6.76	6.84	7.06	1,148,389
合計	1,162,711,361	1,138,081,250	1,128,347,147	1,153,596,630	1,167,907,179	1,134,627,477	31,006,623
	100	100	100	100	100	100	34,672,921



## イ 青果

全国の主要な市場と比較すると、当市場青果部は数量・金額ともに4%前後の占有率で、やや減少傾向にあります。

### 【取扱数量】

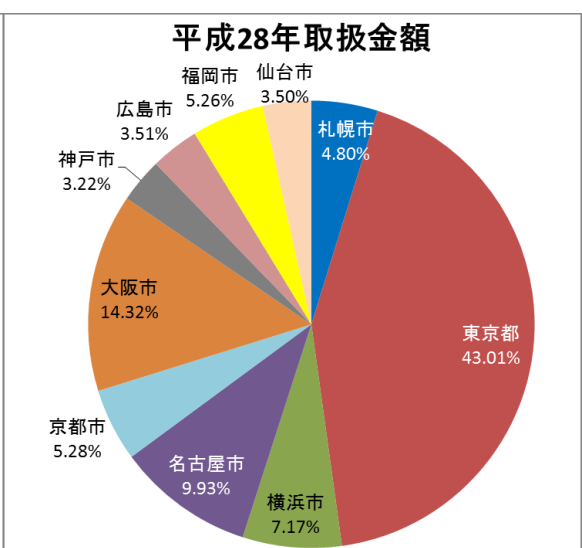
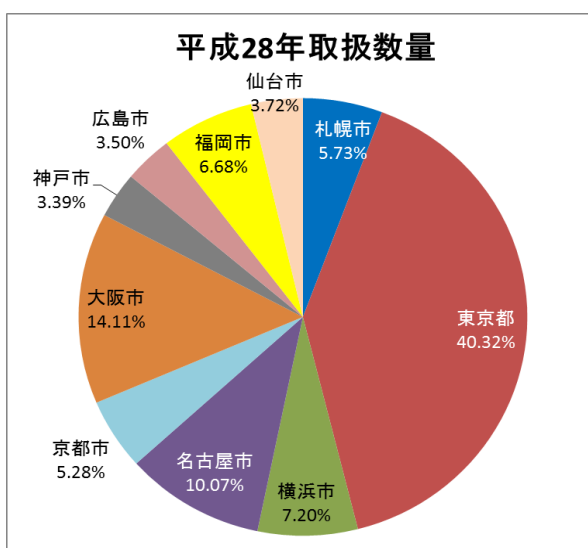
(単位:t)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
札幌市	298,092	301,420	312,393	302,948	301,466	283,320	1,952,356
	5.79	5.75	5.98	5.78	5.94	5.73	1,959,740
東京都	2,045,061	2,090,489	2,074,745	2,077,339	2,035,703	1,993,439	13,515,271
	39.69	39.87	39.73	39.65	40.09	40.32	15,920,405
横浜市	477,790	479,499	458,979	472,214	396,205	355,843	3,724,844
	9.27	9.15	8.79	9.01	7.80	7.20	3,416,060
名古屋市	535,321	535,672	525,360	528,286	515,488	497,716	2,295,638
	10.39	10.22	10.06	10.08	10.15	10.07	2,589,799
京都市	271,619	265,875	267,404	262,437	263,031	260,834	1,475,183
	5.27	5.07	5.12	5.01	5.18	5.28	1,608,216
大阪市	666,217	683,348	683,700	691,802	691,194	697,612	2,691,185
	12.93	13.03	13.09	13.20	13.61	14.11	3,543,449
神戸市	158,962	164,685	160,857	170,685	168,883	167,354	1,537,272
	3.09	3.14	3.08	3.26	3.33	3.39	1,571,625
広島市	201,012	198,625	196,788	197,224	187,402	173,263	1,194,034
	3.90	3.79	3.77	3.76	3.69	3.50	1,211,020
福岡市	296,281	314,800	331,154	325,959	325,383	330,415	1,538,681
	5.75	6.00	6.34	6.22	6.41	6.68	1,704,218
仙台市	202,087	208,589	210,738	210,134	193,693	183,721	1,082,159
	3.92	3.98	4.04	4.01	3.81	3.72	1,148,389
合計	5,152,442	5,243,002	5,222,118	5,239,028	5,078,448	4,943,517	31,006,623
	100	100	100	100	100	100	34,672,921

【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
札幌市	58,966,961	57,938,104	60,189,964	61,394,323	65,714,649	66,860,104	1,952,356
	4.83	4.65	4.78	4.79	4.84	4.80	1,959,740
東京都	508,967,981	524,609,209	531,670,296	541,068,774	579,275,463	599,267,617	13,515,271
	41.71	42.07	42.21	42.18	42.68	43.01	15,920,405
横浜市	110,149,527	113,690,017	109,348,382	115,408,983	104,804,687	99,932,999	3,724,844
	9.03	9.12	8.68	9.00	7.72	7.17	3,416,060
名古屋市	126,991,981	126,546,195	125,448,204	128,465,767	136,791,292	138,370,212	2,295,638
	10.41	10.15	9.96	10.01	10.08	9.93	2,589,799
京都市	65,631,392	65,003,226	65,555,210	64,858,581	71,207,607	73,577,506	1,475,183
	5.38	5.21	5.20	5.06	5.25	5.28	1,608,216
大阪市	162,549,623	165,770,621	172,022,946	174,202,471	189,553,454	199,590,710	2,691,185
	13.32	13.29	13.66	13.58	13.97	14.32	3,543,449
神戸市	37,400,870	38,492,049	37,846,110	39,388,339	43,508,293	44,836,328	1,537,272
	3.06	3.09	3.00	3.07	3.21	3.22	1,571,625
広島市	46,899,873	46,451,387	46,222,096	46,011,774	48,800,643	48,916,665	1,194,034
	3.84	3.72	3.67	3.59	3.60	3.51	1,211,020
福岡市	57,108,765	60,296,231	62,692,982	62,960,907	68,774,646	73,242,002	1,538,681
	4.68	4.83	4.98	4.91	5.07	5.26	1,704,218
仙台市	45,629,585	48,294,673	48,640,972	49,084,310	48,888,508	48,709,830	1,082,159
	3.74	3.87	3.86	3.83	3.60	3.50	1,148,389
合計	1,220,296,558	1,247,091,712	1,259,637,162	1,282,844,229	1,357,319,242	1,393,303,973	31,006,623
	100	100	100	100	100	100	34,672,921



## ウ 花き

全国で花き部門を持つ中央卸売市場は10都市です(平成28年9月現在)。当市場花き部は、数量・金額ともに8%前後の占有率となっています。

### 【取扱数量】

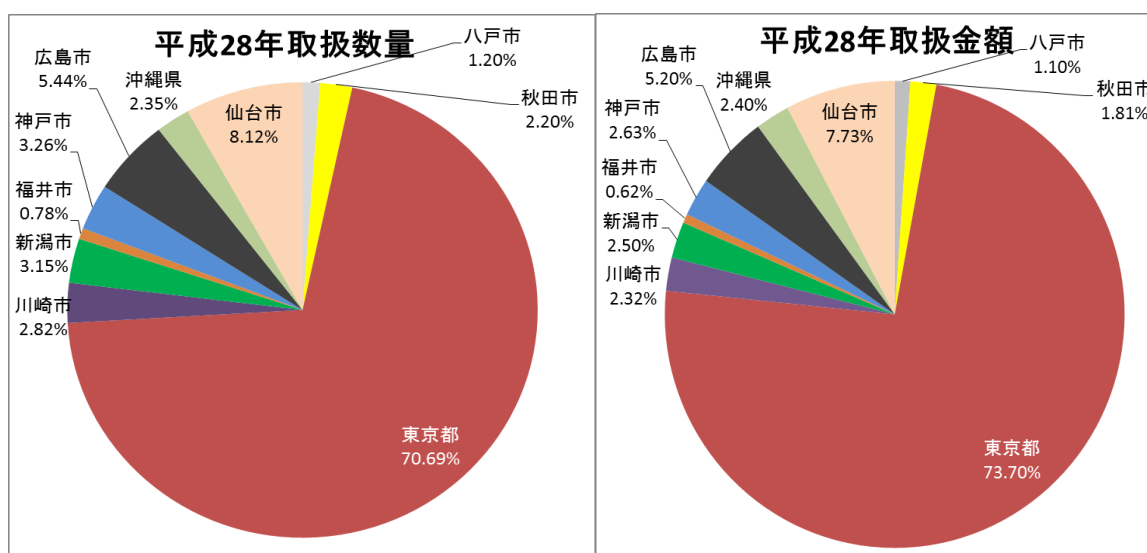
(単位:千(本・鉢・個・枚・束・箱))

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
八戸市	20,038	21,092	18,848	18,307	17,994	17,315	231,257
	1.28	1.34	1.22	1.22	1.22	1.20	241,823
秋田市	33,596	33,338	33,591	32,557	32,143	31,708	315,814
	2.15	2.12	2.18	2.16	2.18	2.20	329,561
東京都	1,081,761	1,086,058	1,071,513	1,045,926	1,030,256	1,020,187	13,515,271
	69.32	68.93	69.49	69.53	69.96	70.69	15,920,405
川崎市	48,542	47,899	47,055	47,803	46,429	40,768	1,475,213
	3.11	3.04	3.05	3.18	3.15	2.82	1,302,487
新潟市	51,694	50,072	50,818	48,962	46,943	45,447	810,157
	3.31	3.18	3.30	3.25	3.19	3.15	822,469
福井市	17,080	14,283	14,061	14,294	11,807	11,220	265,904
	1.09	0.91	0.91	0.95	0.80	0.78	292,855
神戸市	55,011	52,296	52,243	49,637	48,500	47,002	1,537,272
	3.53	3.32	3.39	3.30	3.29	3.26	1,571,625
広島市	89,272	87,171	86,663	82,524	80,108	78,439	1,194,034
	5.72	5.53	5.62	5.49	5.44	5.44	1,211,020
沖縄県	39,671	53,825	37,749	37,966	35,601	33,884	1,433,566
	2.54	3.42	2.45	2.52	2.42	2.35	1,433,110
仙台市	123,765	129,454	129,393	126,364	122,907	117,161	1,082,159
	7.93	8.22	8.39	8.40	8.35	8.12	1,148,389
合計	1,560,430	1,575,488	1,541,934	1,504,340	1,472,688	1,443,131	21,860,647
	100	100	100	100	100	100	24,273,744

【取扱金額】

(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
八戸市	1,258,485	1,306,520	1,261,373	1,265,820	1,289,529	1,326,410	231,257
	1.10	1.10	1.07	1.08	1.07	1.10	241,823
秋田市	2,185,383	2,178,064	2,160,939	2,091,482	2,196,429	2,191,650	315,814
	1.90	1.83	1.83	1.79	1.82	1.81	329,561
東京都	83,088,535	86,447,112	86,177,982	85,487,278	88,368,365	89,274,124	13,515,271
	72.42	72.67	72.80	72.97	73.16	73.70	15,920,405
川崎市	2,870,817	2,956,615	2,944,346	2,985,452	3,074,112	2,805,386	1,475,213
	2.50	2.49	2.49	2.55	2.55	2.32	1,302,487
新潟市	3,105,034	3,158,675	3,196,457	3,059,001	3,075,327	3,029,786	810,157
	2.71	2.66	2.70	2.61	2.55	2.50	822,469
福井市	986,941	838,225	821,123	816,435	752,960	754,956	265,904
	0.86	0.70	0.69	0.70	0.62	0.62	292,855
神戸市	3,221,553	3,204,366	3,104,259	3,025,297	3,243,870	3,186,849	1,537,272
	2.81	2.69	2.62	2.58	2.69	2.63	1,571,625
広島市	6,427,245	6,444,183	6,313,001	6,179,025	6,341,054	6,296,690	1,194,034
	5.60	5.42	5.33	5.27	5.25	5.20	1,211,020
沖縄県	2,951,822	2,989,239	3,003,940	2,965,341	2,908,533	2,906,405	1,433,566
	2.57	2.51	2.54	2.53	2.41	2.40	1,433,110
仙台市	8,636,560	9,429,620	9,399,407	9,276,417	9,529,660	9,360,378	1,082,159
	7.53	7.93	7.94	7.92	7.89	7.73	1,148,389
合計	114,732,375	118,952,619	118,382,827	117,151,548	120,779,839	121,132,634	21,860,647
	100	100	100	100	100	100	24,273,744



## エ 食肉

全国で食肉部門を持つ中央卸売市場は10都市です(平成28年9月現在)。当市場食肉部は、平成23年から28年にかけて数量・金額の占有率は2ポイントほど上昇し、占有率を見ると名古屋市・福岡市と同程度となっています。

### 【取扱数量】

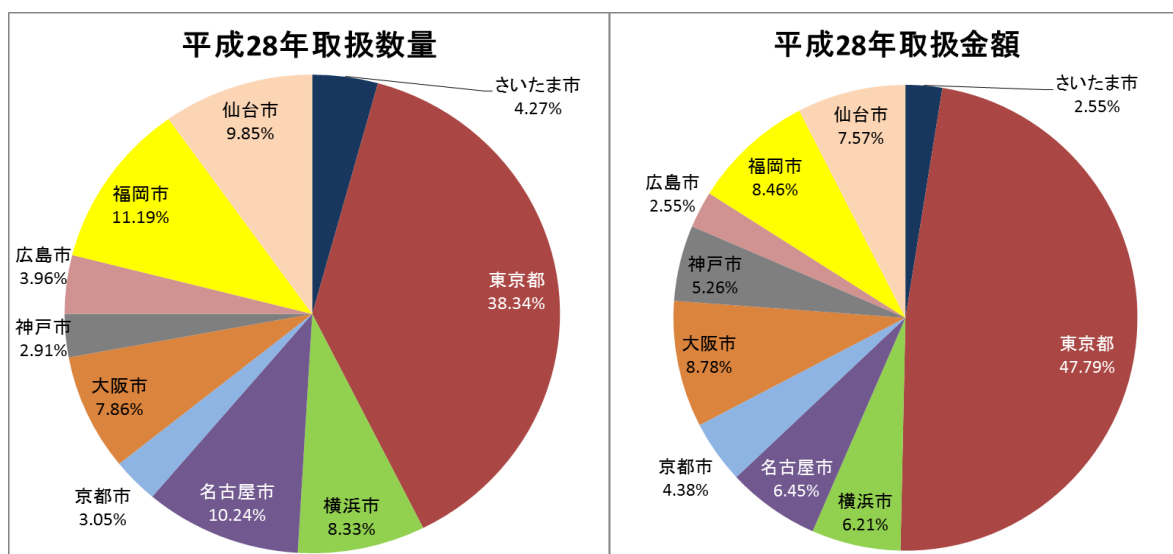
(単位:t)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	取扱数量	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
さいたま市	13,250	12,939	12,915	11,125	9,071	8,670	1,263,979
	6.18	5.80	5.73	5.06	4.31	4.27	1,175,579
東京都	79,069	83,038	84,441	87,254	81,599	77,775	13,515,271
	36.86	37.19	37.48	39.72	38.78	38.34	15,920,405
横浜市	18,036	17,781	17,534	16,695	17,278	16,895	3,724,844
	8.41	7.96	7.78	7.60	8.21	8.33	3,416,060
名古屋市	23,891	22,859	21,786	20,393	20,492	20,771	2,295,638
	11.14	10.24	9.67	9.28	9.74	10.24	2,589,799
京都市	5,758	6,894	7,158	7,587	6,883	6,192	1,475,183
	2.68	3.09	3.18	3.45	3.27	3.05	1,608,216
大阪市	21,859	21,818	22,038	19,029	17,194	15,954	2,691,185
	10.19	9.77	9.78	8.66	8.17	7.86	3,543,449
神戸市	6,928	7,055	7,117	6,779	6,554	5,904	1,537,272
	3.23	3.16	3.16	3.09	3.12	2.91	1,571,625
広島市	7,962	8,697	8,510	8,370	8,424	8,033	1,194,034
	3.71	3.90	3.78	3.81	4.00	3.96	1,211,020
福岡市	20,862	21,560	23,552	22,922	23,570	22,699	1,538,681
	9.73	9.66	10.45	10.43	11.20	11.19	1,704,218
仙台市	16,903	20,621	20,254	19,539	19,330	19,984	1,082,159
	7.88	9.24	8.99	8.89	9.19	9.85	1,148,389
合計	214,518	223,262	225,305	219,693	210,395	202,877	30,318,246
	100	100	100	100	100	100	33,888,760

【取扱金額】

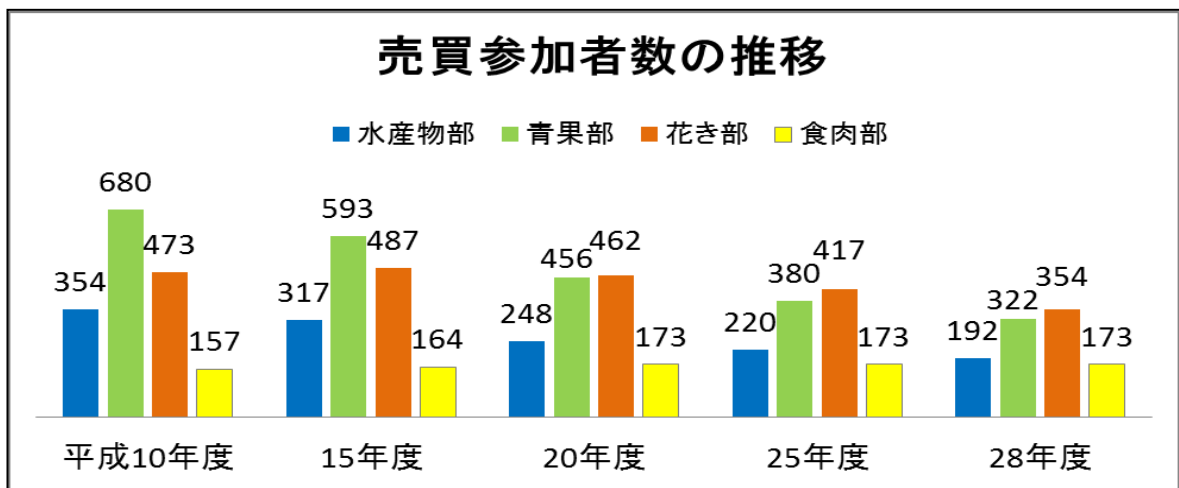
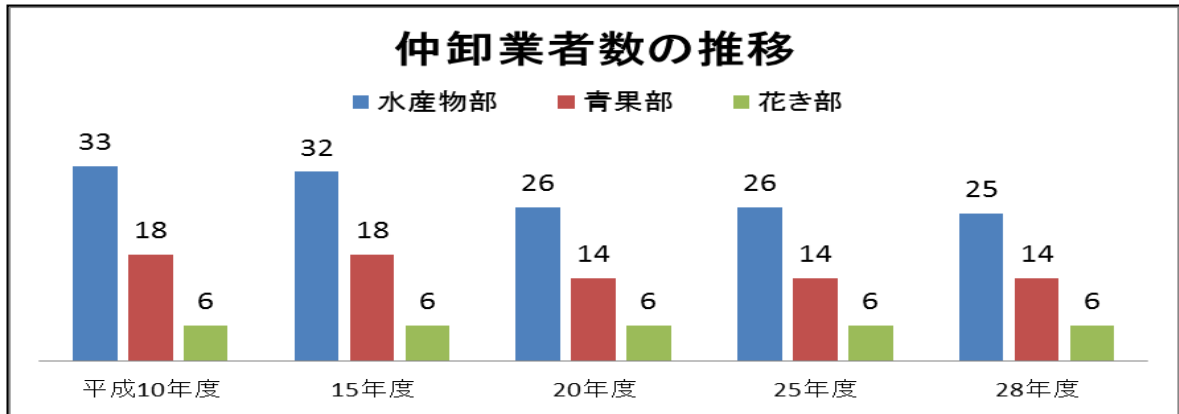
(単位:千円)

開設者	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	H27総務省統計
	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	取扱金額	夜間人口(人)
	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	占有率(%)	昼間人口(人)
さいたま市	8,046,293	7,323,035	8,983,369	8,711,573	8,072,612	7,426,224	1,263,979
	3.98	3.42	3.69	3.34	2.76	2.55	1,175,579
東京都	87,629,630	96,058,884	110,150,863	122,205,524	137,341,172	139,265,653	13,515,271
	43.35	44.90	45.27	46.87	47.03	47.79	15,920,405
横浜市	12,690,262	12,507,193	14,826,083	15,277,736	18,354,933	18,098,263	3,724,844
	6.28	5.85	6.09	5.86	6.28	6.21	3,416,060
名古屋市	17,257,708	15,680,434	15,648,644	16,738,886	17,726,305	18,791,961	2,295,638
	8.54	7.33	6.43	6.42	6.07	6.45	2,589,799
京都市	7,964,304	9,590,965	11,043,242	12,614,294	13,625,181	12,751,075	1,475,183
	3.94	4.48	4.54	4.84	4.67	4.38	1,608,216
大阪市	23,468,561	23,670,638	26,425,822	23,819,732	26,543,541	25,589,343	2,691,185
	11.61	11.06	10.86	9.14	9.09	8.78	3,543,449
神戸市	12,274,225	12,851,828	13,891,176	14,995,599	16,240,969	15,318,162	1,537,272
	6.07	6.01	5.71	5.75	5.56	5.26	1,571,625
広島市	5,770,781	5,892,104	6,400,292	7,142,055	7,785,996	7,439,053	1,194,034
	2.85	2.75	2.63	2.74	2.67	2.55	1,211,020
福岡市	15,280,882	15,596,714	19,095,663	20,388,672	24,547,465	24,664,825	1,538,661
	7.56	7.29	7.85	7.82	8.41	8.46	1,704,218
仙台市	11,749,816	14,751,909	16,854,307	18,852,311	21,810,255	22,049,632	1,082,159
	5.81	6.90	6.93	7.23	7.47	7.57	1,148,389
合計	202,132,462	213,923,704	243,319,461	260,746,382	292,048,429	291,394,191	30,318,246
	100	100	100	100	100	100	33,888,760

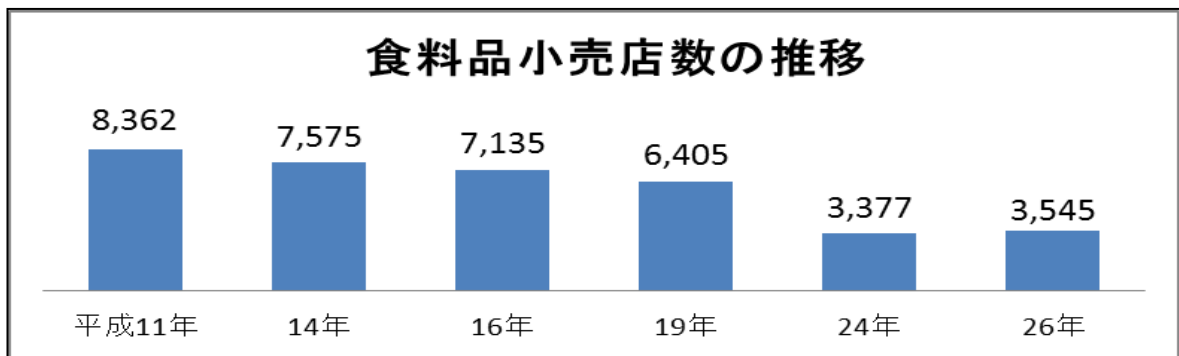


### 3 当市場仲卸業者・売買参加者及び宮城県内食料品小売店数の推移

仲卸業者や小売業者の廃業や撤退が見受けられます。また、市場関係者からは、高齢化や後継者不足を危惧する声も寄せられています。



(出典: 仙台市中央卸売市場平成 29 年度市場概要)



※食料品小売店数は、コンビニ及び量販店数を含む。

(出典: 経済産業省商業統計より作成)



## 4 仙台市及び宮城県の人口推移

### (1) 仙台市の人口及び世帯数(平成 27 年国勢調査)

平成 27 年 10 月に実施された国勢調査の結果によると、仙台市の人口は 1,082,159 人で、前回調査(平成 22 年国勢調査, 以下同じ)の 1,045,986 人に比べ 36,173 人増え、増加率は 3.46%となっています。

人口を男女別にみると、男性が 527,170 人、女性が 554,989 人となり、前回調査に比べ男性は 19,337 人増え、女性は 16,836 人増えました。

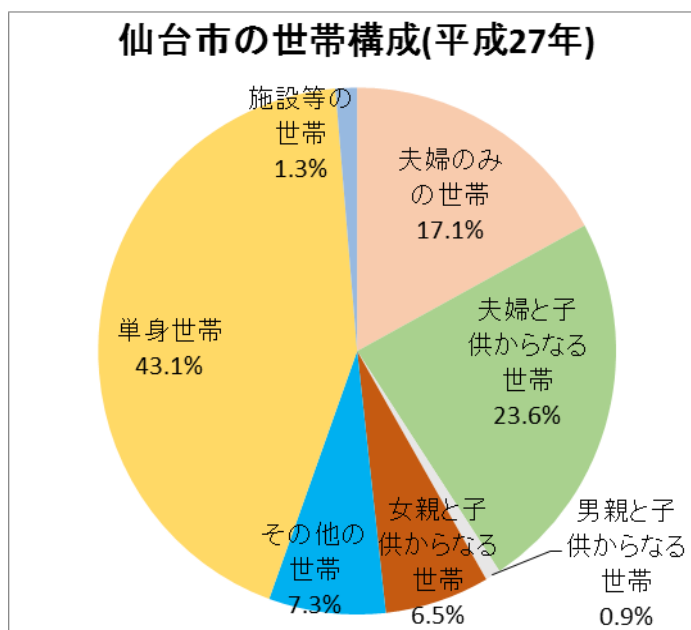
世帯数は 498,953 世帯となり、前回よりも 33,693 世帯増えました。

また、人口を世帯数で割った1世帯当たりの人員は 2.17 人となりました。単身世帯数は前回調査より 26,669 世帯増え、単身世帯数の総世帯数に占める割合は 43.1%となっています。

#### <国勢調査による仙台市の人口及び世帯数>

(単位:人,世帯, %)

		平成22年	平成27年	増減率	平成27年夜間・昼間人口(総務省)	
					夜間	昼間
人口	総数	1,045,986	1,082,159	3.46	1,082,159	1,148,389
	男	507,833	527,170	3.81		
	女	538,153	554,989	3.13		
世帯数		465,260	498,953	7.24		
1世帯あたりの人数		2.25	2.17	-		
単身世帯数		188,567	215,236	14.14		



(2) 宮城県及び仙台市の人口・世帯数の推移(平成 27 年国勢調査)

ア 宮城県

平成 27 年国勢調査によると、宮城県の総人口は 2,333,899 人になり、前回調査の 2,348,165 人に比べ、14,266 人の減少となりました。

増減率は-0.61%で、前回の増減率-0.51%より 0.1 ポイント下回りました。宮城県では大正9年の第1回国勢調査から平成 12 年国勢調査まで一貫して増加を続けていましたが、平成 17 年調査で初めて減少し、3回連続で人口が減少した結果となりました。

一方、世帯数は 944,720 世帯となり、前回調査の世帯数に比べ、42,858 世帯増加しました。増減率は 4.75%で、前回の増減率 4.24%よりも 0.51 ポイント上回りました。

なお、1世帯あたりの人員は、減少し続けています。

イ 仙台市

宮城県は3回連続で人口が減少した結果となりましたが、仙台市は増加が続いています。

なお、人口・世帯数ともに昭和 45 年から一貫して増え続けていますが、1世帯あたりの人員は減少しています。

<宮城県及び仙台市の人口の推移(国勢調査)>

(単位:人, 世帯, %)

調査年	県・市	人口			世帯数			1世帯 当たりの人員
		総数	対前回比較		総数	対前回比較		
			増減数	増減率		増減数	増減率	
昭和45年	宮城県	1,819,223	66,097	3.77	452,346	61,183	15.64	4.02
	うち仙台市	545,065	64,140	13.34	163,301	34,026	26.32	3.34
昭和50年	宮城県	1,955,267	136,044	7.48	526,916	74,570	16.49	3.71
	うち仙台市	615,473	70,408	12.92	200,455	37,154	22.75	3.07
昭和55年	宮城県	2,082,320	127,053	6.50	599,968	73,052	13.86	3.47
	うち仙台市	664,868	49,395	8.03	236,638	36,183	18.05	2.81
昭和60年	宮城県	2,176,295	93,975	4.51	641,669	41,701	6.95	3.39
	うち仙台市	700,254	35,386	5.32	255,739	19,101	8.07	2.74
平成2年	宮城県	2,248,558	72,263	3.32	699,740	58,071	9.05	3.21
	うち仙台市	918,398	218,144	31.15	340,904	85,165	33.30	2.69
平成7年	宮城県	2,328,739	80,181	3.57	776,944	77,204	11.03	3.00
	うち仙台市	971,297	52,899	5.76	387,292	46,388	13.61	2.51
平成12年	宮城県	2,365,320	36,581	1.57	833,366	56,422	7.26	2.84
	うち仙台市	1,008,130	36,833	3.79	421,182	33,890	8.75	2.39
平成17年	宮城県	2,360,218	-5,102	-0.22	865,200	31,834	3.82	2.73
	うち仙台市	1,025,098	16,968	1.68	439,579	18,397	4.37	2.33
平成22年	宮城県	2,348,165	-12,053	-0.51	901,862	36,662	4.24	2.60
	うち仙台市	1,045,986	20,888	2.04	465,260	25,681	5.84	2.25
平成27年	宮城県	2,333,899	-14,266	-0.61	944,720	42,858	4.75	2.47
	うち仙台市	1,082,159	36,173	3.46	498,953	33,693	7.24	2.17

## 5 震災からの復興

東北地方では、平成 23 年に発生した東日本大震災で被災した産地の復興が課題となっています。

<宮城県内農林水産関係被害額の状況>

全体被害額:約 1 兆 2,952 億円      うち津波被害額:約 1 兆 2,538 億円

### ○ 農業関連被害 約 5,454 億円

- ・ 農地の浸水 (14,341ha)
- ・ 用排水路、農道等の損壊 (5,134 箇所)

### ○ 畜産業関連被害 約 50 億円

- ・ 畜産品等被害 (8,273 t)
- ・ 畜産施設等の損壊 (252 箇所)
- ・ 家畜等被害 (約 150 万頭)

### ○ 水産業関連被害 約 6,804 億円

- ・ 漁港施設被害 (213 箇所)
- ・ 漁船の大破、滅失等 (12,023 隻)
- ・ 養殖施設被害 (67,158 箇所)
- ・ 養殖水産物等被害 (99,045 t)



(仙台市HPより掲載)



(仙台市HPより掲載)

(出典:宮城県農林水産部東日本大震災による被害状況について[平成 27 年 12 月 10 日確定報]より作成)

## IV 仙台市中央卸売市場経営戦略

### 1 全国的な動向

平成 28 年 1 月に策定された「第 10 次卸売市場整備基本方針」では、卸売市場を一つの経営体として捉え、将来を見据えた卸売市場全体の経営戦略的な視点から、市場運営の方針等を明確にした経営展望の策定等により、卸売市場としての経営戦略を確立することが求められております。

現在、全国の中央卸売市場では、国の基本方針に掲げられている市場運営の考え方や、これまでの取組の成果などを踏まえ、経営展望の策定や見直しを行っています。

### 2 東日本大震災を踏まえて

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、死者・行方不明者が全国で 2 万人を超えるなど、多くの経済的・人的被害が発生しました。

当市場においても施設の被害は大きく、特に食肉市場の被害は甚大でした。こうした状況の中でも、市場関係者、開設者が一丸となって復旧作業にあたることで、震災直後から市場を開き、生鮮食料品等の取引を行いました。また、災害対策本部や自衛隊などに対しても食料品の供給を行い、災害時の救援活動にも大きく貢献し、市場として果たした役割について、高い評価を受けました。

このような経験を踏まえ、経営戦略には非常時における生鮮食料品の安定供給といった公益性の観点も盛り込んで策定しており、引き続き、安定的かつ安全に食料提供ができるよう機能の強化・充実を目指すこととしました。

### 3 経営戦略の策定方針

#### (1) 当市場のSWOT分析

当市場の経営戦略の策定においては、全国的な卸売市場を取り巻く情勢の変化を踏まえるとともに、当市場特有の環境条件や強み・弱み等について、SWOT による再分析を行い、目指すべき卸売市場のあり方に向けた検討をしました。

## 仙台市中央卸売市場におけるSWOT分析

		外部要因	
		機会 (Opportunities) ≡市場にとって好ましい要素	脅威 (Threats) ≡市場にとって悪い要素
		○環境問題を始めとする社会的要請の高まり	○少子高齢化と社会構造の変化(食料消費の減少)
		○食の安全・安心に対する期待の高まり	○消費者の生鮮食料品離れ
		○食育・健康への関心の高まり	○農水産物の生産構造の脆弱化
		○東日本大震災を契機とする市場の役割に対する再評価	○輸入品増加等による市場経由率の低下
		○情報化の進展	○食品の安全性への不安
			○市場特有の労働環境
<p>■SWOT(スウォット)分析とは 強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)、の4つのポイントから要因を分析し、戦略を策定する手法</p>		強み (Strengths) ≡仙台市場の優れている点	弱み (Weaknesses) ≡仙台市場の欠点
		積極的攻勢(++) 内外の環境が両方プラス、強気に攻める	段階的施策(+-) 欠点を改善しプラスへ転換を図る
内部 要 因	○東北地方の中核的拠点である	【強化方針1】 食の安定供給の機能強化 強化策(1) 食の安全・安心保持のための機能強化	【強化方針1】 食の安定供給の機能強化 強化策(1) 食の安全・安心保持のための機能強化
	○政令指定都市として大きな消費地を持つ	強化策(2) 安定供給のための市場の機能強化	強化策(2) 安定供給のための市場の機能強化
	○水産・青果・花き・食肉の全部門を有する総合市場である	強化策(3) 非常時対応力の強化	強化策(3) 非常時対応力の強化
	○卸・仲卸・買参人・開設者の4者間の意思疎通が円滑である	【強化方針2】 市民から産地までを結びつける市場機能の充実	【強化方針2】 市民から産地までを結びつける市場機能の充実
	○水揚港や生産地に近い	強化策(1) 情報の受発信機能の強化	強化策(1) 情報の受発信機能の強化
	○高速道路ICに近く、交通の利便性が良い	強化策(2) 販売力の強化	強化策(2) 販売力の強化
	○衛生検査機関が市場内にある	【強化方針3】 東北の中核的拠点としての機能強化	【強化方針3】 東北の中核的拠点としての機能強化
	○ゴミのリサイクル化を進めている	強化策(1) 中核的拠点としての機能強化	強化策(1) 中核的拠点としての機能強化
	○精算制度の完備による代金決済の確実性	強化策(2) 市場内連携による機能強化	強化策(2) 市場内連携による機能強化
	○配送センター機能が強化されている		
○敷地内にガソリンスタンドがある			
○コールドチェーン化の遅れ	【強化方針1】 食の安定供給の機能強化 強化策(1) 食の安全・安心保持のための機能強化	【強化方針1】 食の安定供給の機能強化 強化策(2) 安定供給のための市場の機能強化	
○仲卸業者・関連事業者の経営悪化	強化策(2) 安定供給のための市場の機能強化	【強化方針3】 東北の中核的拠点としての機能強化	
○売買参加者の減少	【強化方針2】 市民から産地までを結びつける市場機能の充実	強化策(1) 中核的拠点としての機能強化	
○荷捌き施設の不足	強化策(2) 販売力の強化	強化策(2) 市場内連携による機能強化	
○市場施設全体の老朽化	【強化方針3】 東北の中核的拠点としての機能強化	強化策(1) 中核的拠点としての機能強化	
○場内事業者における若年層の減少	強化策(2) 市場内連携による機能強化	強化策(2) 市場内連携による機能強化	

## (2) 当市場の現状と今後の方向性

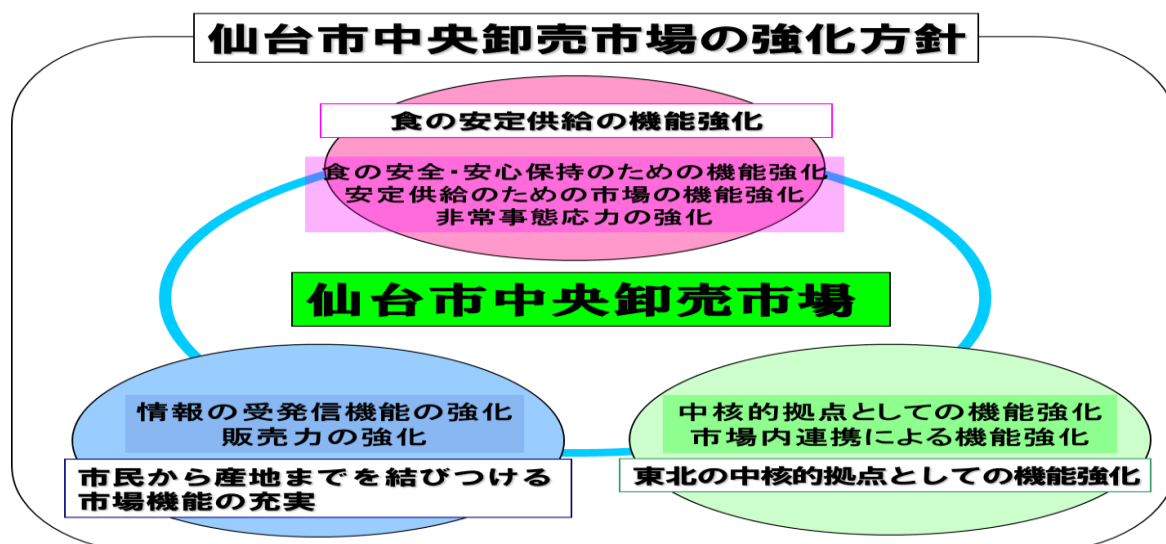
全国的な卸売市場を取り巻く環境の変化を踏まえ、当市場の現在の状況分析及びこれまでの取組成果の検証等の作業により、当市場を取り巻く状況と、これに基づく今後の取組の基本的な方向性を次のように取りまとめました。

### ア 当市場を取り巻く状況

- (ア) 全国的に市場経由率が低下しており、本市においても取扱数量が減少傾向にある。
- (イ) 大消費地を抱えるとともに水揚げ港や産地にも近く、広域的な集荷・供給にも適している環境にあるため、水産物、青果及び花きの取扱数量・取扱高は東北地方の中央卸売市場全体における占有率も上昇を続けており、引き続き中核的拠点としての機能を求められている。

### イ 今後の取り組みの基本的な方向性

- (ア) 大震災を機に食の安全に対する消費者の関心が高まりを見せていることに積極的に応え、安定的に集荷・供給できる機能を強化する。
- (イ) 大消費地と産地が近く、全部門を有する総合市場であることから、消費拡大・市場経由率の向上をめざして産地から小売業者、そして消費者をより密接に結びつけていく機能の充実を図る。
- (ウ) 東北地方の中核的拠点としての役割を果たすべく、東北全体の産地・消費者を視野に入れつつ、その生産から消費までに至る活動を牽引していく機能を強化する。



## 4 3つの強化方針

以上を踏まえ、当市場では引き続き「食の安定供給の機能強化」、「市民から産地までを結び付ける市場機能の充実」、「東北の中核的拠点としての機能強化」の3つを強化方針とし、それに伴う強化策・取組を推進していくこととしました。

### 強化方針1. 食の安定供給の機能強化

「食を支える社会的インフラ」である中央卸売市場として、平時・非常時ともに安定的かつ安全に食料供給ができるよう機能強化を図ります。

#### (1) 「食の安全・安心保持のための機能強化」

- ① 品質管理の徹底 ② 安全・安心情報の発信

強化策

#### (2) 「安定供給のための市場の機能強化」

- ① 集荷・供給力の強化 ② 小売業者の活性化  
③ 市場施設の強化 ④ 市場関係事業者の強化等

#### (3) 「非常時対応力の強化」

- ① 物流機能の確保 ② 市場機能の維持

### 強化方針2. 市民から産地までを結びつける市場機能の充実

開設から57年が経過し、市場を取り巻く環境も大きく変化しました。こうした変化に対応できるよう、当市場からの情報受発信機能を強化し、出荷者・消費者双方にとって有効な情報の提供に努め、また市場関係事業者の販売力の強化につながるよう取り組みます。

#### (1) 「情報の受発信機能の強化」

- ① 有効な情報の提供 ② 関連店舗情報の発信等

強化策

#### (2) 「販売力の強化」

- ① 消費拡大に向けた取組 ② 小売業者の活性化

### 強化方針3. 東北の中核的拠点としての機能強化

当市場は、東北地方の中核的拠点としての役割を果たすべく、東北全体の産地・消費者を視野に入れつつ、更に発展できるよう市場機能を強化します。

#### (1) 「中核的拠点としての機能強化」

- ① 県内及び東北地方の他市場との連携強化 ② 輸入機能・輸出力の強化  
③ 市場施設の強化 ④ 持続可能な運営に向けた取組

強化策

#### (2) 「市場内連携による機能強化」

- ① 市場内協力体制の強化 ② 業務統合や情報共有の強化

強化方針1. 食の安定供給の機能強化

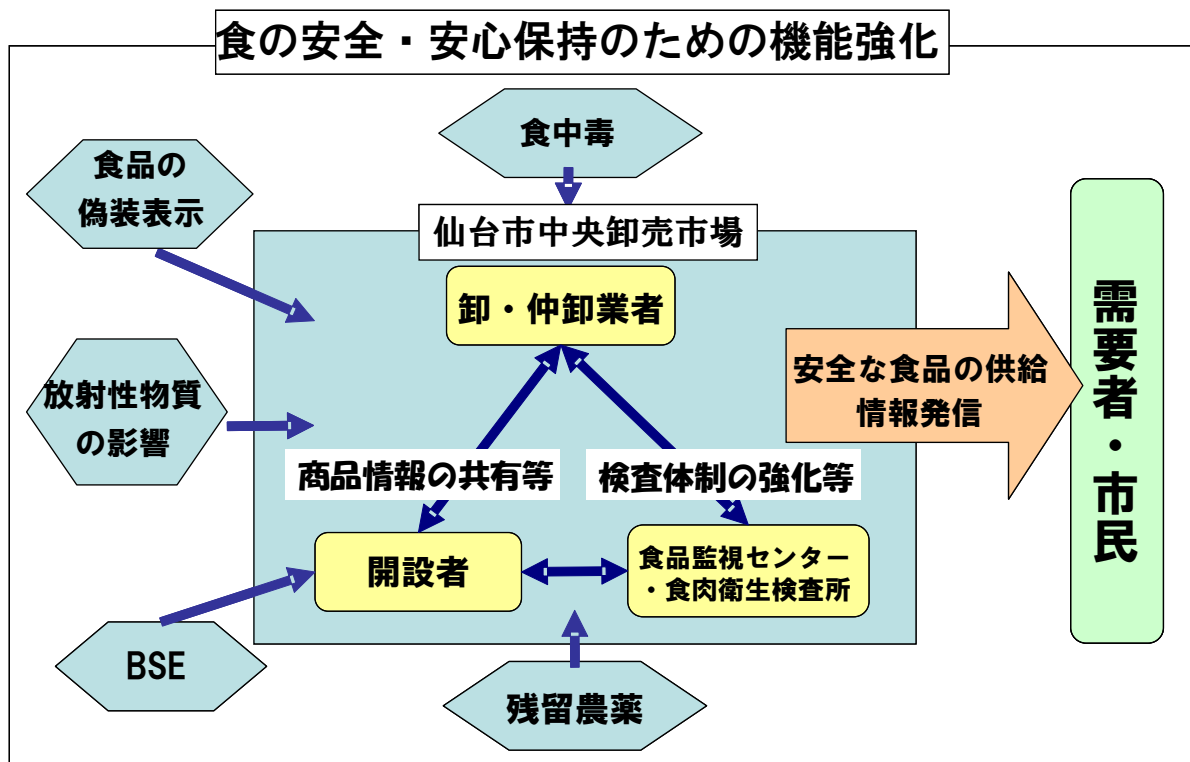
(1) 食の安全・安心保持のための機能強化

信頼に応える食の流通を目指して

品質管理の徹底による安全・安心な商品の提供と適切な情報の発信は、市民を守るだけでなく、市場のブランド価値向上のためにも必要となっています。

【背景】

原発事故、BSE（牛海綿状脳症）、食品の偽装表示、無登録農薬の不正使用、輸入野菜の残留農薬違反など、消費者の信頼を揺るがす問題が相次いで発生し、食品の安全性に対する国民の関心が高まっています。このような中、当市場として、こうした社会的要請に応えていくことが求められています。





## ① 品質管理の徹底

開設者、食品監視センター、食肉衛生検査所及び各市場関係業者との協働による品質管理の徹底を進めます。

### 【取組例】

#### ○ 食の安全・安心への対応

- ・ 市場関係者に対する食品取扱いに関する意識の向上と、生鮮食料品の品質管理の高度化のため、ガイドライン<sup>※1</sup>の確実な運用や適正な商品表示の徹底、市場関係者のコンプライアンス遵守や衛生管理の講習会などを、関係機関と連携しながら実施します。

#### ○ 食品流通の安全・安心対策

- ・ コールドチェーン化を推進し、低温化による鮮度保持及び病原菌や病害虫の増殖の抑制を図り、食品流通の安全確保を図ります。
- ・ 卸売場及び荷置き場の低温化と保冷施設の整備を進め、需要者のニーズに対応した加工、配送機能を強化します。

#### ○ トレーサビリティシステム<sup>※2</sup>、HACCP<sup>※3</sup>等への対応

- ・ トレーサビリティシステムや HACCP 対応を踏まえた流通過程における品質管理の仕組み等について検討します。

※1 「品質管理の高度化に向けての行動指針～取り組みのガイドライン～」  
(平成17年8月策定)

※2 商品の在庫管理と流通履歴情報の遡及、追跡可能な形で伝票等の保存や産地における食品の生産履歴などの情報の積極的な収集伝達により、産地から消費地まで一貫して商品情報を把握するシステム

※3 食品を製造する際に工程上の危害を起こす要因を分析し、それを最も効率よく管理できる部分を連続的に管理して安全を確保する管理手法

## ② 安全・安心情報の発信

安全・安心情報の発信を通して、市民からの信頼確保を図ります。

### 【取組例】

#### ○ 商品情報の発信の強化

- ・ 産地や安全性に関する情報の公表をより一層強化することで、消費者が市場を経由した商品を安心して購入できるよう努めます。

#### ○ 食品監視センターとの連携強化

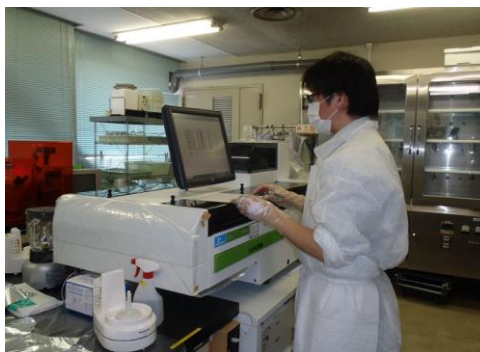
- ・ 食品監視センターとの連携を強化し、放射能汚染や残留農薬といった問題に関する情報提供などに迅速な対応ができるよう努めます。

#### ○ 食肉衛生検査所との連携強化

- ・ 食肉衛生検査所との連携を強化し、作業工程の衛生面のチェックを行うとともに、作業従事者や出入りする食肉事業関係者等に対し適切な指導を行い、衛生管理を徹底するよう努めます。

#### ○ 当市場を経由する食材の安全・安心のPR

- ・ ホームページやマスコミを通して、消費者への正しい情報の発信や当市場商品の安全性をPRすることにより、当市場のブランド価値の向上や、生鮮食品等の消費拡大を図ります。



食品検査の様子

## 強化方針1. 食の安定供給の機能強化

### (2) 安定供給のための市場の機能強化

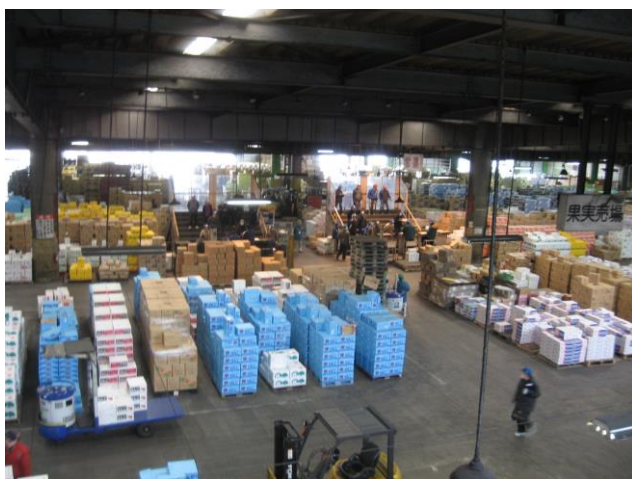
#### 市場流通の拡大を目指して

集荷供給力を高める取組や、それを支える事業者の活性化を図ることにより、食の安定供給を確保します。

#### 【背景】

人口減少・食生活の変化などから、市場取扱数量が年々減少する傾向にあり、また、仲卸業者や小売業者もその数を減らしています。

一方、仙台市という大消費地を開設区域に持ち、広域的な物流網の要にあることから、広域的に集荷し、供給していく力を高めながら市場流通を拡大していくための取組が求められています。



## ① 集荷・供給力の強化

産地の育成や他市場との連携による広域的な集荷、更には輸入品への対応強化などにより、これまで以上に広く集荷し、供給できる力を強めていきます

### 【取組例】

#### ○ 卸売市場による産地育成、ブランド化推進

- ・ 先進地の取組の研究や産学官連携による事業検討を行い、産地に対し消費者ニーズを反映した品目の栽培提案等を行うと共に、六次産業化も含めたブランド化を支援します。

#### ○ コーディネート機能強化

- ・ 生産者及び消費者目線の情報を収集・整理し、双方に発信するなど、多様な機会をとらえて両者の交流や情報交換を促進することにより、生産者と消費者を結びつけ、産地の支援を進めていきます。

#### ○ 中核的拠点としての機能強化

- ・ 中継地点としての役割も増大している中、中核的拠点として広く集荷を行い、広域エリアへの商品の供給を行うハブ機能も果たす体制作りを進めます。

#### ○ 輸入機能の強化

- ・ 仙台国際空港、仙台港と直結する仙台東部道路に近接するという地理的優位性を生かした輸入品への対応強化を図ります。

#### ○ 海外情報収集の強化

- ・ 海外情報の収集力の強化及び輸入農林水産物の集荷力の強化や、商社・物流事業者との連携を促進します。

## ② 小売業者の活性化

地域に密着し、消費者と直接対面している小売業者の支援を通じた、市場取扱高の拡大を目指します。

### 【取組例】

#### ○ 市場経由商品のPR

- ・ 消費者ニーズを踏まえた新商品や、市場ブランド品の積極的な宣伝を通して小売業者の販売力強化を図ります。

#### ○ 小売店向け加工・仕分けの強化

- ・ 需要者のニーズに合わせて市場商品の加工・仕分けの取組を推進します。

#### ○ 小売業者の経営支援に向けた取組

- ・ 小売組合を通して経営相談の適切なサポートや、各種規制等の情報提供を行うなど、小売業者の経営支援を行い売買参加者の確保に努めます。

### ③ 市場施設の強化

開設当時に比べると市場を取り巻く環境は大きく変化しました。そうした変化に応じ、市場関係事業者のニーズにあった市場運営のための施設の維持修繕や有効利用を進めます。

#### 【取組例】

##### ○ 市場ニーズにあった施設管理の推進

- ・ 市場を取り巻く環境の変化に応じて、当市場の施設の維持・管理を行う必要があります。こうした施設管理を行うことにより、市場関係者と一体となって、販売力強化につながる機能の向上を図ります。

##### ○ 大型車両に対応可能な駐車施設の整備

- ・ 物流強化の観点から、大型車両への対応など市場関係事業者のニーズに合った施設整備に向けて検討を進めます。

##### ○ 市場施設の利用方法の周知徹底

- ・ 市場施設の利用方法について市場関係事業者への周知を徹底し、円滑な市場運営ができるよう、協働の取組によりルールへの遵守に向けた活動を強化します。

##### ○ 市場再整備に向けた調査研究

- ・ 今後の市場制度の改革や社会構造の変化による新たなニーズを踏まえながら市場施設の再整備に向けた調査研究を行います。

## ④ 市場関係事業者の強化等

業務の効率化などによる経営基盤の強化に取り組むとともに、その従事者が健康で意欲的に働けるよう、労働環境を改善していきます。

### 【取組例】

#### ○ 他部門との業務統合

- ・ 産地や販売先との物流の共同化など、より効率化が可能となる業務部分に関して、IT技術の導入等による業務統合を促し、効率化を図ります。

#### ○ 卸・仲卸業者や小売組合間の情報共有の強化

- ・ 適切な集荷量の把握や需要者ニーズの把握ができるよう、電算システムの統一化など情報共有の推進を図ります。

#### ○ 経営改善に向けた情報収集体制の強化

- ・ 経営改善に役立つ流通等の各種データや、各地の中央卸売市場等における事例の収集整理と共有を図ります。

#### ○ 結婚・出産した女性が働き続けられる環境の整備

- ・ 結婚や出産後の女性が安心して働き続けられるよう、市場内保育施設の導入や職場でのサポート体制の確立等を推進します。

#### ○ 長時間労働や深夜勤務など労働環境の改善

- ・ 国の働き方改革の理念に基づき、市場関係者の労働環境の改善を通して、若手人材の確保や育成を図ります。



仙台市中央卸売市場 花き市場



仙台市中央卸売市場 食肉市場

## 強化方針1. 食の安定供給の機能強化

### (3) 非常時対応力の強化

#### 緊急時における行動計画の検討

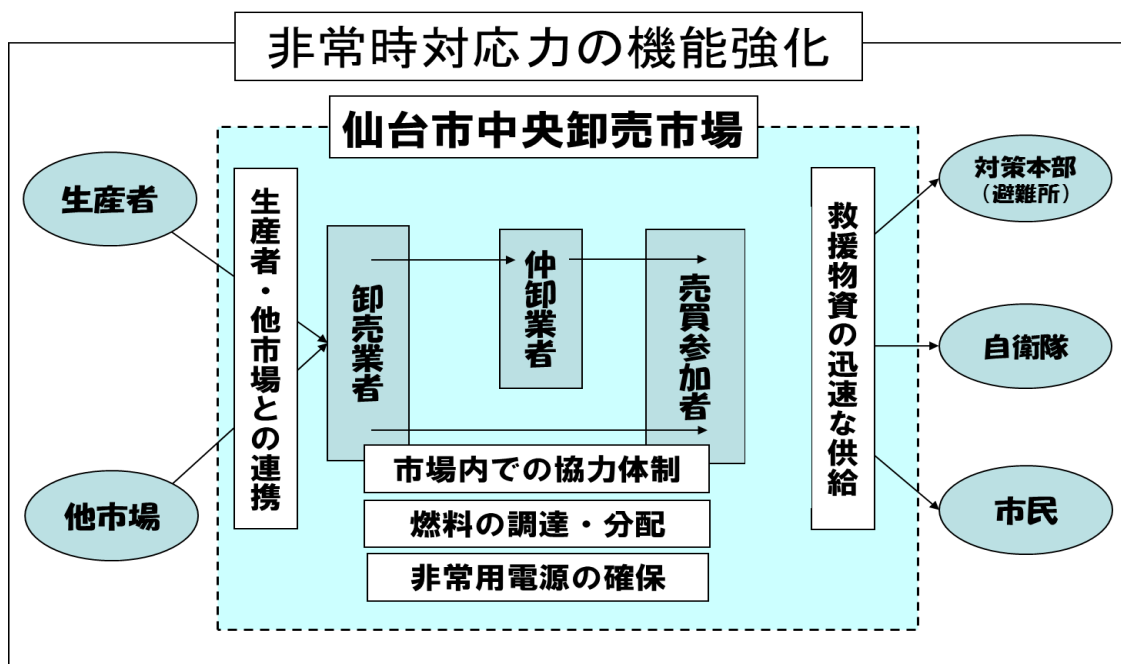
災害発生時において迅速・適確に行動できるよう、市場関係者の行動指針を策定することが急務となっています。

#### 【背景】

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では津波によって多くの方々が犠牲となり、想定をはるかに超えた人的・経済的被害が発生しました。また電気・水道・通信等といったライフラインの機能が広い範囲にわたって停止し、市民の日常生活に大きな影響を与えました。

当市場では震災発生時、自衛隊や各避難所に対してバナナや柑橘類といった救援物資を供給することや、震災発生後も市場取引を継続することによる食の流通の迅速な復旧といった貢献を通して、公益性を発揮しました。

こうした経験を踏まえ、食の流通という面での社会的インフラとしての役割を果たすことが求められています。





## ① 物流機能の確保

非常時において、市場関係者が円滑に対応できるよう行動計画の策定や、市場内での協力体制を推進します。

### 【取組例】

#### ○ 救援物資の迅速な供給

- ・ 災害発生時、各機関からの要請に応じ食料等の救援物資を迅速に供給できるよう努めます。

#### ○ 他市場との連携の強化

- ・ 全国中央卸売市場協会災害時相互応援に関する協定等を通して他市場との連携を強化し、非常時の食品入荷量確保に生かせるよう努めます。

#### ○ 市場内での協力体制の強化

- ・ 災害発生時における対応について、市場関係者による定例会議を通して協議し、非常時における円滑な協力体制の確立に努めます。

#### ○ 防災訓練の徹底

- ・ 大地震だけでなく、火災や大雨などの災害に対しても強い市場運営ができるよう、防災訓練の充実を図ります。

※1

#### ○ BCP（事業継続計画）の充実

- ・ 各事業者は、作成しているBCPについて先般の大震災の経験を踏まえ内容の充実を図ります。

※1 災害時に優先的に取り組むべき重要な業務を継続し、最短で事業の復旧を図るために事前に必要な資源の準備や対応方針・手段を定める計画のこと。

## ② 市場機能の維持

震災等による非常時でも、市場機能が維持できるよう努めます。

### 【取組例】

#### ○ ガソリン等の燃料確保

- ・ 物流の要という観点から、燃料の確保は市場にとって生命線となります。今後ガソリン等の燃料確保や適切な分配方法について検討し、災害発生時に輸送機能を維持できるよう努めます。

#### ○ 非常用電源の検討

- ・ 防災対応型太陽光発電システムなど、非常用電源の確保に向けた方策を検討します。

#### ○ 代替通信手段の確保

- ・ 非常時における外部との通信手段の確保を推進します。

## 強化方針2. 市民から産地までを結びつける市場機能

### (1) 情報の受発信機能の強化

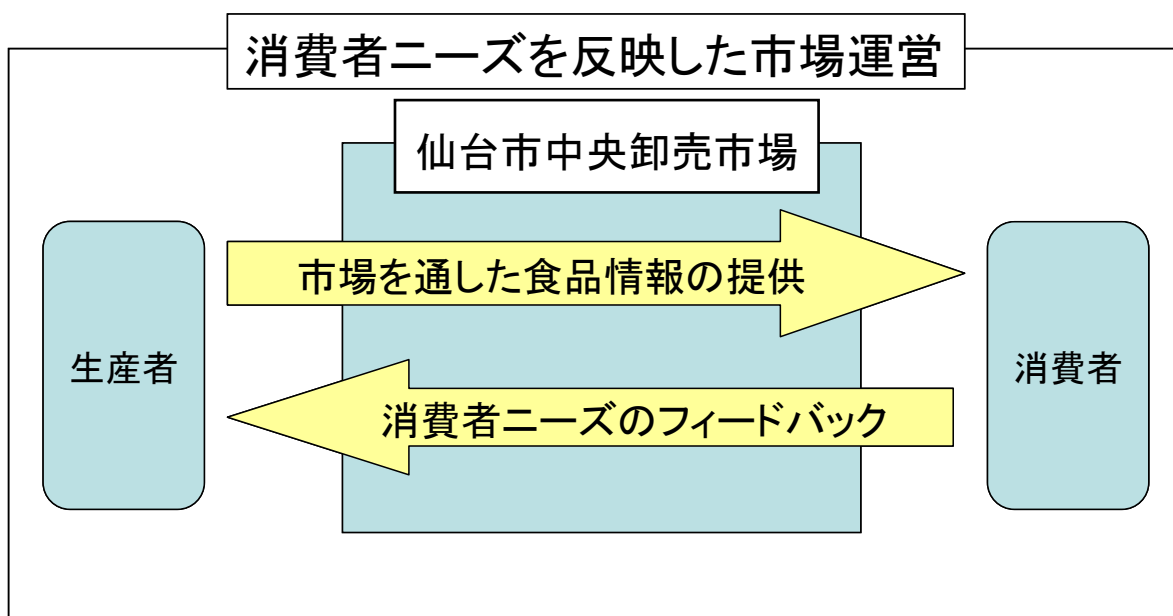
#### 市場の広報力強化に向けて

生産者・消費者双方にとって有効な情報の提供が求められています。また、市場内飲食店や食料品等を扱う関連店舗についての情報発信を行っていきます。

#### 【背景】

近年、放射能汚染や残留農薬といった問題により、食の安全・安心の確保は消費者にとってますます重要となっています。

また、市場関係者が連携して情報を収集・発信し、生産者と消費者をつなぐ機能、取引数量や価格などの情報を迅速に伝達する機能が必要となっています。



## ① 有効な情報の提供

情報の受発信を通して、市場ブランドの形成や消費者からの信頼確保を推進します。

### 【取組例】

#### ○ コーディネート機能強化（1.－（2）－①再掲）

- ・ 生産者及び消費者目線の情報を収集・整理し、双方に発信するなど、多様な機会をとらえて両者の交流や情報交換を促進することにより、生産者と消費者を結びつけ、産地の支援を進めていきます。

#### ○ 商品情報の発信の強化（1.－（1）－②再掲）

- ・ 産地や安全性に関する情報の公表をより一層強化することで、消費者が市場を経由した商品を安心して購入できるよう努めます。

#### ○ 食品監視センターとの連携強化（1.－（1）－②再掲）

- ・ 食品監視センターとの連携を強化し、放射能汚染や残留農薬といった問題に関する情報提供などに迅速な対応ができるよう努めます。

#### ○ 食肉衛生検査所との連携強化（1.－（1）－②再掲）

- ・ 食肉衛生検査所との連携を強化し、作業工程の衛生面のチェックを行うとともに、作業従事者や出入りする食肉事業関係者等に対し適切な指導を行い、衛生管理を徹底するよう努めます。

#### ○ ホームページ等の情報発信ツールの強化

- ・ ホームページやメール配信サービスの充実など、より一層の情報提供を推進します。

## ② 関連店舗情報の発信等

市場内における関連店舗からも情報発信を行うなど市場の魅力をアピールします。

### 【取組例】

#### ○ 関連店舗の利用時間などの情報発信

- ・ 関連店舗の様々な情報を広く PR し、場外からの利用者に対し関連店舗の利用を促進します。

#### ○ 空き店舗の有効利用

- ・ 空き店舗となっている施設に関して、市場関係事業者との協議を進めながら活用を行っていきます。

#### ○ 将来の関連店舗のあり方についての検討

- ・ 賑わいの創出や共同店舗化など、新たな魅力づくりを図り、より多くの人が集い、楽しむことができる方策を検討していきます。



市場まつりの様子

## 強化方針2. 市民から産地までを結びつける市場機能

### (2) 販売力の強化

#### 市場商品の消費拡大に向けて

旬の食材や新しい食べ方、季節の花々やフラワーアレンジメントの紹介などを通じて、消費拡大に取り組みます。

#### 【背景】

少子高齢化や消費者のライフスタイルの変化などにより、生鮮食料品の消費量は減少傾向にあります。

また、消費者と生産者をつなぐ市場として、消費者ニーズを反映した商品化の支援や加工品の開発等を通して消費拡大や販売力の強化に努めていくことも重要な課題となっています。

小売業者は地域に密着し、消費者と直接顔の見える販売を行うなど生鮮食料品等の流通において重要な担い手となっています。しかし、近年では大型量販店の拡大や、高齢化といった問題により店舗数は減少傾向にあります。

その一方で、東日本大震災発生時には小売店を通して生鮮食料品が供給されたことや、近年増加している買い物難民への対策といった社会インフラとしての観点からも小売業者の活性化が求められています。



市場まつりの様子

## ① 消費拡大に向けた取組

産地の育成と市場経由商品の消費拡大に向けた取組を通して  
市場取扱高及び経由率の改善を図ります。

### 【取組例】

#### ○ 卸売市場による産地育成、ブランド化推進（1.－（2）－①再掲）

- ・ 先進地の取組の研究や産学官連携による事業検討を行い、産地に対し消費者ニーズを反映した品目の栽培提案等を行うと共に、六次産業化も含めたブランド化を支援します。

#### ○ 当市場を経由する食材の安全・安心のPR（1.－（1）－②再掲）

- ・ ホームページやマスコミを通して、消費者への正しい情報の発信や当市場商品の安全性をPRすることにより、当市場のブランド価値の向上や、生鮮食品等の消費拡大を図ります。

#### ○ 生鮮品の消費拡大活動の推進

- ・ 当市場では市場関係事業者との協働により、やさい・くだもの普及委員会やおさかな普及協会が生鮮食品の消費拡大に向けた産地見学や料理教室などの活動を行っていますが、こうした活動をさらに推進するとともに、インバウンド対応のPR活動などを企画し、更なる生鮮食品等の消費拡大に努めます。

#### ○ 食育・花育に関する情報発信

- ・ 小中学生の社会科見学の受入れ、出前授業の実施など、食の拠点としての食育事業と併せ、花育事業に関するイベント開催などにより、情報発信を推進します。

#### ○ 市民への市場開放による市場のPR

- ・ 市場見学会や市場まっりの開催に加え、定期的な市場開放日（買い物体験や目利き教室など）の検討もを行い、一般消費者に対して市場をPRし、消費拡大を図ります。

## ② 小売業者の活性化

地域に密着し、消費者と直接対面している小売業者の支援を通じた、市場取扱高の拡大を目指します。

### 【取組例】

#### ○ 市場経由商品のPR（1.－（2）－②再掲）

- ・ 消費者ニーズを踏まえた新商品や、市場ブランド品の積極的な宣伝を通して小売業者の販売力強化を図ります。

#### ○ 小売店向け加工・仕分けの強化（1.－（2）－②再掲）

- ・ 需要者のニーズに合わせて市場商品の加工・仕分けの取組を推進します。

#### ○ 小売業者の経営支援に向けた取組（1.－（2）－②再掲）

- ・ 小売組合を通して経営相談の適切なサポートや、各種規制等の情報提供を行うなど、小売業者の経営支援を行い売買参加者の確保に努めます。



### 強化方針3. 東北の中核的拠点としての機能強化

#### (1) 中核的拠点としての機能強化

#### 東北の中核的拠点としての役割

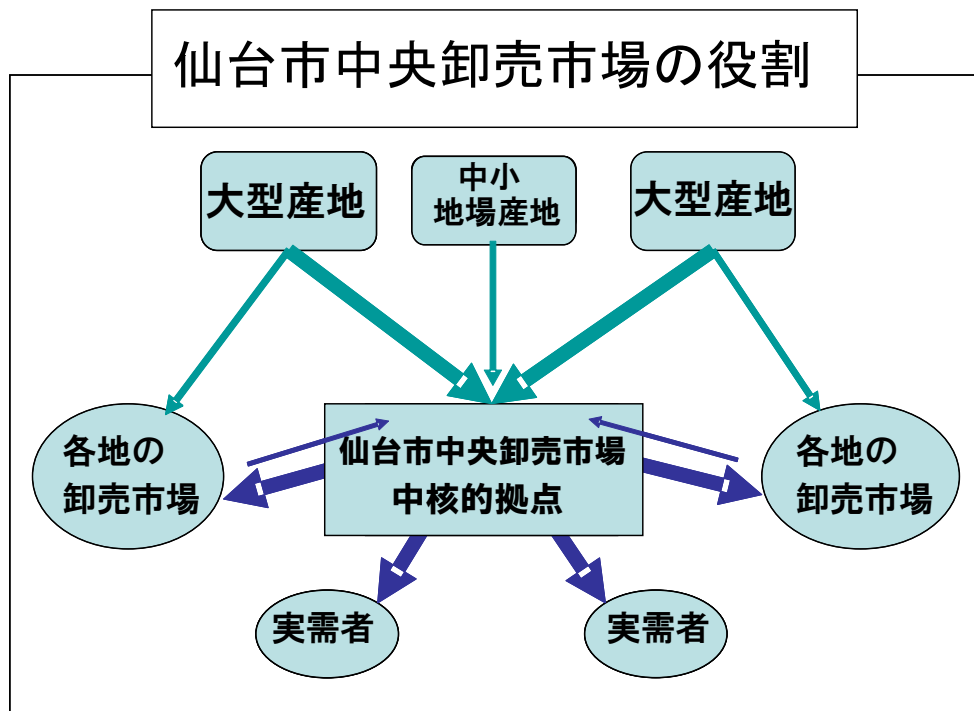
東北地方の中核的な機能を担う拠点として、販路の開拓や販売増加に向けて、場内のみならず、他市場の卸売業者・仲卸業者との連携を強化します。

#### 【背景】

国の第9次中央卸売市場整備計画において、本市場は中央拠点市場として位置づけられました。

第10次の基本方針では、中央拠点市場という位置づけはなくなりましたが、引き続き、生鮮食料品等の円滑な流通の確保に向けて東北地方の中核的拠点としての役割を果たすことが期待されております。

こうした環境の中で、当市場においては物流システムの強化・効率化や、東北の中核的拠点にふさわしい機能の強化が求められています。



## ① 県内及び東北地方の他市場との連携強化

東北地方の中核的な機能を担う拠点として、他市場との連携を強化して集荷量の確保や効率的な物流運営を行います。

### 【取組例】

#### ○ 中核的拠点としての機能強化（1.－（2）－①再掲）

- ・ 中継地点としての役割も増大している中、中核的拠点として広く集荷を行い、広域エリアへの商品の供給を行うハブ機能も果たす体制作りを進めます。

#### ○ 連携の強化

- ・ 市場関係事業者は産地や商品に関する多くの情報を有しており、連携を強化することで新たなマーケットを開拓します。また、小売店・飲食店等に販売力向上につながる提案を行います。

#### ○ 取引システムの簡素化・効率化

- ・ 共同配送や流通の簡素化などにより、産地や販売先との物流の効率化と市場内外の流通コストの削減を図ります。

## ② 輸入機能・輸出力の強化

近年増加している輸入品への対応強化及び輸出拡大に向けた取組を行うなど、集荷力及び商品供給力の強化を図ります。

### 【取組例】

#### ○ 輸入機能の強化（1.－（2）－①再掲）

- ・ 仙台国際空港、仙台港と直結する仙台東部道路に近接するという地理的優位性を生かした輸入品への対応強化を図ります。

#### ○ 海外情報収集の強化（1.－（2）－①再掲）

- ・ 海外情報の収集力の強化及び輸入農林水産物の集荷力の強化や、商社・物流事業者との連携を促進します。

#### ○ 輸出力の強化

- ・ 本市場を經由した食品の海外輸出を推進するため、海外における日本産品の需要状況や輸出に必要な制度的要件などについて情報収集を行うほか、これまで実績のあるマカオ、タイ及びベトナム向けの仙台牛等輸出の継続的展開に併せ、新たな輸出先開拓や水産物輸出拡大に向けた事業の検討など、海外で需要のある食品について、積極的に関係団体と連携して輸出促進の取組を行います。また、販売力の強化策により、販売先の飲食店で訪日外国人に東北の食を楽しんでいただき、その体験を通じて東北産食材の評価を高めるという好循環を構築し、輸出の可能性を探ります。

### ③ 市場施設の強化

開設当時に比べると市場を取り巻く環境は大きく変化しました。そうした変化に応じ、市場関係事業者のニーズにあった市場運営のための施設の維持修繕や有効利用を進めます。

#### 【取組例】

##### ○ 市場ニーズにあった施設管理の推進（1.－（2）－③再掲）

- ・ 市場を取り巻く環境の変化に応じて、当市場の施設の維持・管理を行う必要があります。こうした施設管理を行うことにより、市場関係者と一体となって、販売力強化につながる機能の向上を図ります。

##### ○ 大型車両に対応可能な駐車施設の整備（1.－（2）－③再掲）

- ・ 物流強化の観点から、大型車両への対応など市場関係事業者のニーズに合った施設整備に向けて検討を進めます。

##### ○ 市場施設の利用方法の周知徹底（1.－（2）－③再掲）

- ・ 市場施設の利用方法について市場関係事業者へ周知を徹底し、円滑な市場運営ができるよう、協働の取組によりルールへの遵守に向けた活動を強化します。

##### ○ 市場再整備に向けた調査研究（1.－（2）－③再掲）

- ・ 今後の市場制度の改革や社会構造の変化による新たなニーズを踏まえながら市場施設の再整備に向けた調査研究を行います。

## ④ 持続可能な運営に向けた取組

厳しいエネルギー事情などに対応しながら、持続的に運営していくことを可能にするため、各施設・設備に応じた市場のエコ化を推進します。

### 【取組例】

#### ○ 環境に配慮した取組の推進

- ・ 卸売市場は、冷蔵・冷凍施設、場内搬送車両、夜間照明などの施設・設備を有しています。市場関係事業者の負担を考慮しつつ、温室効果ガス排出量の削減に努めます。

#### ○ 施設・機器類の使用電力量削減

- ・ 冷蔵庫施設の整理、温度管理の徹底や電化製品の節電対策の実施を通して、市場内での使用電力量の削減に取り組みます。

#### ○ 市場内照明の使用電力量削減

- ・ 業務に支障のない範囲及び時間帯での市場内照明の消灯徹底や、LED等の低消費電力型照明器具導入を推進します。

#### ○ ゴミ減量化対策

- ・ 市場クリーン作戦などの清掃活動等を拡充し、場内で発生するゴミや廃パレットなどの分別徹底・再資源化による減量を図るとともに、不法投棄の防止に向けた取組を強化します。

#### ○ クリーンエネルギーの推進

- ・ 市場内で使用されるフォークリフトや輸送トラックなどの燃料について各売り場に応じたクリーンエネルギーへの転換や、太陽光発電の導入などの検討を進め、CO<sub>2</sub>の削減など環境にも配慮した市場運営を目指します。

### 強化方針3. 東北の中核的拠点としての機能強化

## (2) 市場内連携による機能強化

### 他部門との連携や、効率的な物流施設の整備によるコストの削減

他の部門との業務統合や、効率的な物流施設の整備によるコスト削減を目指します。

#### 【背景】

震災発生時には、卸・仲卸業者、小売組合、関連事業者、開設者などの市場関係者が連日復旧に向けた会議を行い、市場一丸となって食料品等の供給に努め、その連携は震災を機にさらに深まりました。

部門間の連携や効率的な市場運営に協働で取り組み、東北の中核的拠点として更に発展していくことが求められています。



## ① 市場内協力体制の強化

市場内での利用ルールの周知徹底や、市場関係者間での協力体制による連携強化を図ります。

### 【取組例】

#### ○ 物流施設の有効利用による効率化の推進

- ・ 当市場における物流の総合的な合理化に向け、市場関係者が一丸となって場内交通ルールの見直しや、荷捌き場における商品管理の徹底に向けたルール作りを進め、場内物流体制の強化を進めます。

#### ○ 市場設備の利用方法や交通ルールの周知徹底

- ・ 駐車施設や荷捌き場についての利用方法について、周知の強化及び交通ルール遵守の徹底を行い、市場関係者が円滑に施設を利用できるよう取り組みます。

## ② 業務統合や情報共有の強化

市場関係事業者の業務統合や、IT 技術の推進による業務の効率化を図ります。

### 【取組例】

#### ○ 他部門との業務統合（1.－（2）－④再掲）

- ・ 産地や販売先との物流の共同化など、より効率化が可能となる業務部分に関して、IT 技術の導入等による業務統合を促し、効率化を図ります。

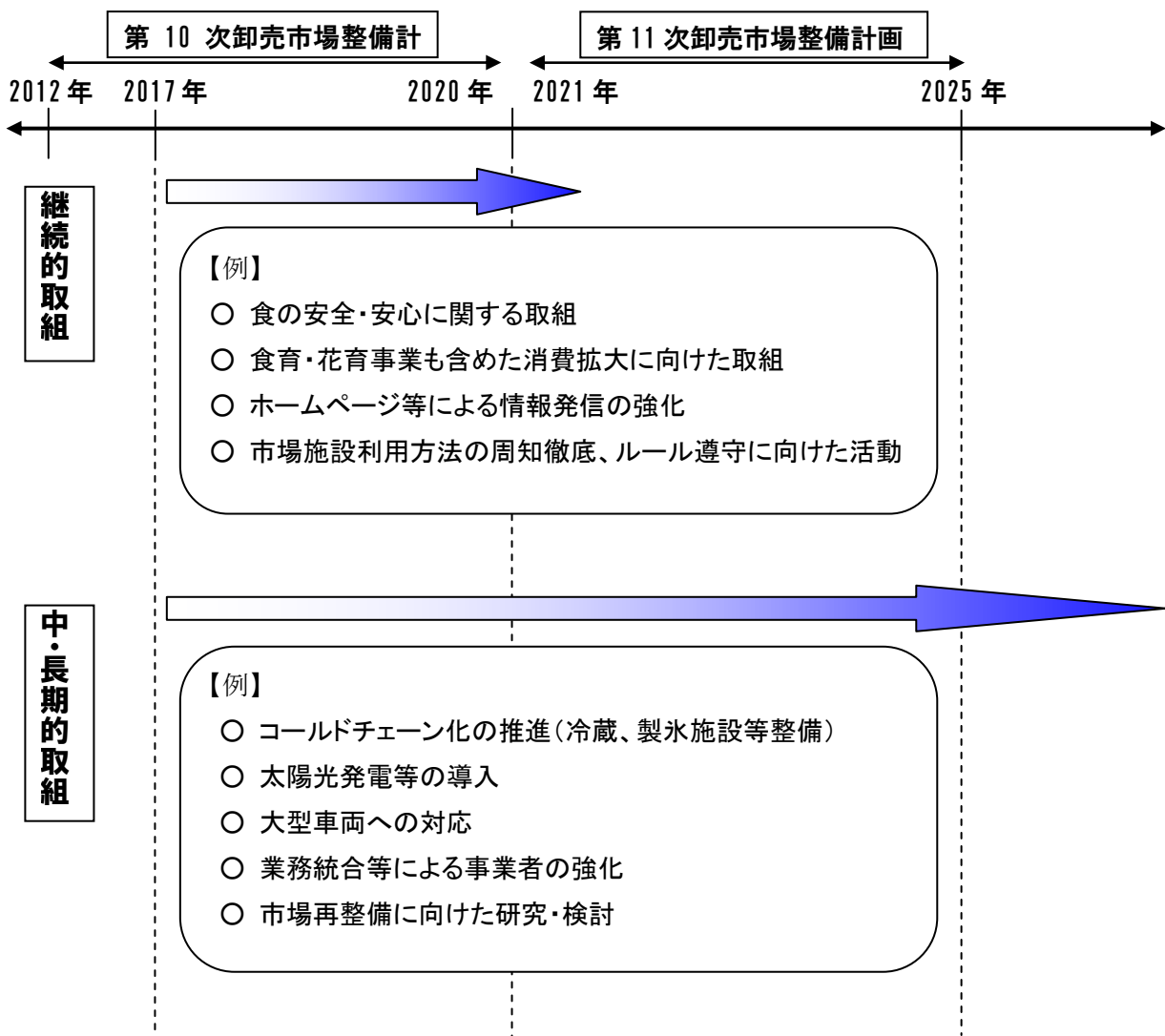
#### ○ 卸・仲卸業者や小売組合間の情報共有の強化（1.－（2）－④再掲）

- ・ 適切な集荷量の把握や需要者ニーズの把握ができるよう、電算システムの統一化など情報共有の推進を図ります。

## V 行動計画工程表

今後、策定した経営戦略に基づく各取り組みを実施するにあたっては、食の安全・安心に関する取組や食育・花育事業も含めた消費拡大に向けた取組、また、その取組などの情報発信の強化など、主にソフト面での対策に関しては、継続的な取組として実施を図ります。

また、市場施設の整備や業務統合等による事業者の強化などについては、卸売市場法の見直しを含めた市場制度改革に向けた国の動きなどを踏まえ、市場関係者と協議を進めながら、中・長期的に取り組めます。





## 資料編

### 1 東日本大震災発生直後における当市場の対応

日	時間	内容
3月11日(金)	14:46	東日本大震災発生
	17:00	市場内各団体緊急招集 水産・青果の卸売業者、青果仲卸組合から数名集合。開設者を交え翌日以降の取引等について協議。通常時間での通常取引は出来なくても、仕入れに来た買受人には相対取引で対応することとした。又、緊急的に食糧供給支援要請が来た場合に出来る限り対応することとした。
	20:00	市場内各団体緊急招集 水産・青果の卸売業者、水産仲卸組合、青果仲卸組合、配送センターに開設者を交え、緊急支援物資の区対策本部及び市立病院への配送等について協議した。
3月12日(土)	7:30	市場内各団体との打ち合わせ 各団体所属の職員・社員の安否や出勤状況の確認。施設被害状況の報告。救援物資の配送、通電の見通しや燃料・水の確保について協議。
	9:30	市場内各団体との打ち合わせ 水産物・青果物の取引状況報告。取引方法、青果部売場への不審者の出入りについて協議。
		救援物資の支給 区対策本部へ救援物資としてバナナ(70~80本入×2,000箱)を供給。同様に柑橘類等を3月15日(火)まで区対策本部へ継続支給。
3月13日(日) 臨時開市	7:30	市場内各団体との打ち合わせ 各団体所属の職員・社員の安否や出勤状況の確認。救援物資の配送、取引方法等について協議。
		救援物資の供給 区対策本部のほか市立病院へ救援物資として柑橘類を供給。同様に柑橘類等を3月16日(水)まで市立病院へ継続供給。
3月14日(月)	8:00	市場内各団体との打ち合わせ 施設関係復旧状況の報告。銀行より営業についての説明。救援物資の配送、取引方法について協議。同様の早朝会議を3月26日(土)まで同時間から継続。
3月15日(火)		<b>電力復旧(本場)</b>
3月16日(水) 臨時開市	6:30	<b>水産物部で一部せり実施(遠海売場付近)</b>
3月17日(木)		救援物資の供給 救援物資集積所(消防学校)へ救援物資としてバナナ、柑橘類を供給。同様に3月23日(水)まで継続供給。
		<b>上下水道復旧(食肉市場)</b>
3月18日(金)		救援物資の供給 宮城県災害対策本部へ自衛隊炊き出し用野菜を供給。
		<b>電力復旧(花き市場・食肉市場)、上下水道復旧(本場・花き市場)</b>
3月20日(日)		燃料計画配給1回目 市場内ガソリンスタンドにて、支援物資輸送や市場機能確保のため、市場登録車両への燃料の計画配給を実施(100×400台)。
3月21日(月) 臨時開市		
3月22日(火)	7:00	<b>青果部で一部せり実施(近在売場)</b>
		燃料計画配給2回目 市場内ガソリンスタンドにて、支援物資輸送や市場機能確保のため、市場登録車両への燃料の計画配給を実施(200×150台)。
3月23日(水)	9:00	花き市場取引再開
3月25日(金)		燃料計画配給3回目 市場登録車両への燃料の計画配給を3月26日(土)との両日を実施(2日で200×550台)。
		<b>天然ガススタンド復旧(本場構内運搬車用)、プロパンガス一部復旧(食肉市場)</b>
3月27日(日) 休市		<b>震災後初の休市</b>
3月28日(月)		水産物部・青果部・花き部ほぼ通常取引に

※食肉市場は、4月5日豚の枝肉搬入による取引再開。4月8日牛の枝肉搬入による取引再開。

## 2 国の第10次卸売市場整備基本方針

### 1 卸売市場整備基本方針について

卸売市場整備基本方針は、卸売市場の整備・運営の基本となる方針であり、卸売市場法に基づき、おおむね5年毎に農林水産大臣が定めています。

第10次整備基本方針は、卸売市場が直面している様々な課題や求められる機能・役割の変化を踏まえ、平成32年度を目標年度として平成28年1月に策定・発表されました。

### 2 第10次卸売市場整備基本方針の概要

取組の方向性として、国民へ円滑かつ安定的に生鮮食料品等を供給する使命を引き続き果たすとともに、生産者・実需者との共存・共栄を図るという視点の下、川上・川下をつなぐ架け橋として求められる機能、役割を強化・高度化することとし、食品流通を取り巻く情勢の変化に対応し、その求められる卸売市場の機能、役割の強化・高度化に向けた市場の整備、運営を行うに当たり、以下の7つの基本的考え方が示されました。

#### <基本的考え方>

- (1) 卸売市場における経営戦略の確立
- (2) 立地・機能に応じた市場間における役割分担と連携強化
- (3) 産地との連携強化と消費者、実需者等の多様化するニーズへの的確な対応
- (4) 卸売市場の活性化に向けた国産農林水産物の流通・販売に関する新たな取組の推進
- (5) 公正かつ効率的な売買取引の確保
- (6) 卸売業者及び仲卸業者の経営体質の強化
- (7) 卸売市場に対する社会的要請への適切な対応

### 3 経営戦略策定の経過

#### 【仙台市中央卸売市場経営戦略 2012】

平成 23 年 11 月 7 日	第1回経営戦略策定委員会 (策定委員、設置要領の決定等)
平成 24 年 5 月 ~ 6 月	経営戦略策定部会 〔青果部会、水産物部会、食肉部会、花き部会、関連部会〕 (各部会にて原案説明、課題抽出、ビジョン策定及び対応策等の協議を経て修正案決定)
平成 24 年 8 月 24 日	第2回経営戦略策定委員会 (経営戦略案・今後のスケジュール)
平成 24 年 8 月 31 日	仙台市中央卸売市場運営協議会 (経営戦略案の審議等)
平成 24 年 10 月 29 日	第3回経営戦略策定委員会 (経営戦略の決定・今後の取組)

#### 【仙台市中央卸売市場経営戦略 2017】

平成 29 年 6 月 ~ 7 月	場内関係団体にヒアリング実施 〔青果:2卸、2組合、水産:2卸、4組合、食肉:1卸、1組合、 花き:2卸、2組合〕 (現行経営戦略の総括及び今後の取組について)
平成 30 年 1 月 11 日	仙台市中央卸売市場経営戦略 2017 策定会議 (経営戦略案の審議等)
平成 30 年 1 月 30 日	仙台市中央卸売市場運営協議会 (経営戦略原案確定)

## 仙台市中央卸売市場経営戦略 2017

平成 30 年 3 月 発行

編集・発行 仙台市中央卸売市場

本 場	〒984-0015	仙台市若林区卸町四丁目 3 番地の 1	TEL(022)232-8111 (代)
花き市場	〒983-0036	仙台市宮城野区苦竹四丁目 1 番 20 号	TEL(022)232-8123 (代)
食肉市場	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町六丁目 3 番 6 号	TEL(022)258-3131 (代)